



# 青森県の畜産

平成21年2月



# 目次

## 第1章 農業の概要

- 1) 自然と気象..... 1
- 2) 本県農業の地位..... 2
- 3) 農業産出額..... 4

## 第2章 畜産の概要

- 1) 畜産産出額..... 5
- 2) 主要家畜の頭羽数..... 5

## 第3章 家畜飼養動向

- 1) 乳用牛..... 6
- 2) 肉用牛..... 8
- 3) 豚..... 10
- 4) 採卵鶏..... 12
- 5) プロイラー..... 13
- 6) その他..... 14

## 第4章 畜産物の流通と価格

- 1) 牛乳..... 15
- 2) 肉用牛..... 17
- 3) 豚..... 19
- 4) 鶏卵..... 21
- 5) プロイラー..... 23

## 第5章 畜産物の生産費と収益性

- 1) 牛乳..... 25
- 2) 肉用牛..... 26
- 3) 豚..... 28

## 第6章 草地と飼料

- 1) 自給飼料の状況..... 29
- 2) 草地開発面積..... 30
- 3) 配合飼料の状況..... 31

## 第7章 家畜衛生

- 1) 家畜防疫事業の推移..... 32
- 2) 監視伝染病発生状況..... 33
- 3) 放牧衛生状況..... 33

## 第8章 環境保全

- 環境汚染発生状況..... 34

## 第9章 参考資料

- 1) 青森県酪農・肉用牛生産  
近代化計画の目標..... 35
- 2) 畜産行政組織の概要..... 36
- 3) 市町村合併の状況..... 38
- 4) 畜産関係機関・団体..... 39
- 5) 畜産関係施設..... 40
- 6) 県内の特徴的な動き..... 41  
(平成20年度)
- 7) 県基幹種雄牛..... 44

表紙写真：日本短角種の放牧風景（横浜町雲雀平）

裏表紙写真：飼料用稲「うしゆたか」の収穫作業（青森県農林総合研究センター、黒石市）

# 第1章 農業の概要

## 1) 自然と気象

### [位置]

本県は、本州の最北端に位置し、北は津軽海峡を隔てて北海道と相對し、東は太平洋、西は日本海に囲まれ、南は秋田・岩手両県に接している。

青森市から東京までは、国道4号では約740km、鉄道距離（東北本線・東北新幹線）では約730kmで、時間距離は鉄道では約4時間、自動車では東北縦貫自動車道を利用すると約8時間、飛行機では約1時間10分となっている。

### [面積]

本県の面積は、全国第8位の9,607平方キロメートルで、全国の約3%を占めているが、人口密度は全国44位となっており、1人あたりの面積が広く、豊かな自然に恵まれている。

### [地形]

地勢は中央の奥羽山脈を境として、日本海側に接する津軽地方では、広大な沖積平野と出羽山脈の延長にある山地が形成され、山地によって囲まれた岩木川流域には肥沃な津軽平野、奥羽山脈に北端には青森市を中心とした青森平野が広がっている。

一方、太平洋側の県南地方では、火山灰土に覆われた大地や段丘が広く分布し、下北半島の首部から十和田市・八戸市に及ぶ地域には丘陵地が形成されている。

### [気象]

本州最北端にあることから、冷涼型の気候で四季がはっきりしている。

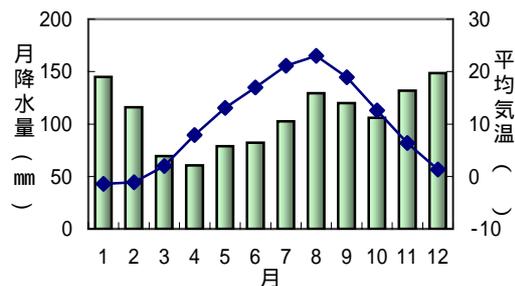
夏期は、津軽地方は比較的気温が高く気象に恵まれているが、県南地方では北太平洋に発達する高気圧により、春の終わりから夏にかけてヤマセ（偏東風）が吹き、低温の日が多い。

冬季は大陸高気圧の影響により、西ないし北西の季節風が多くなり、津軽地方では多雪となるが、県南地方は冷え込みが激しく、晴天の日が多く雪も少ない。

月平均気温と月平均降水量の関係(1971～2000年、資料：気象庁気象統計情報)

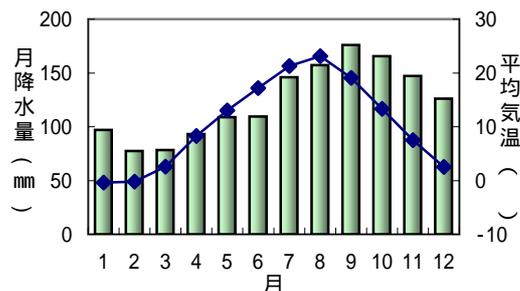
### 青森

緯度：北緯 40°49'  
経度：東経140°46'



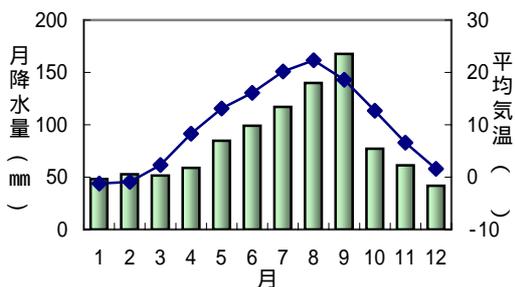
### 深浦

緯度：北緯 40°38'  
経度：東経139°55'



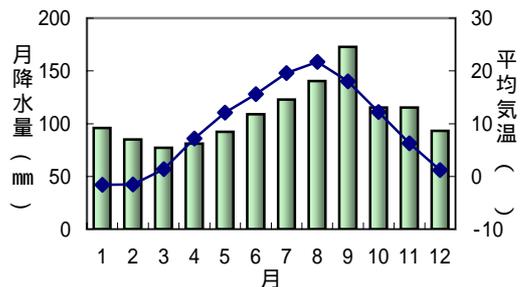
### 八戸

緯度：北緯 40°31'  
経度：東経141°31'



### むつ

緯度：北緯 41°17'  
経度：東経141°12'

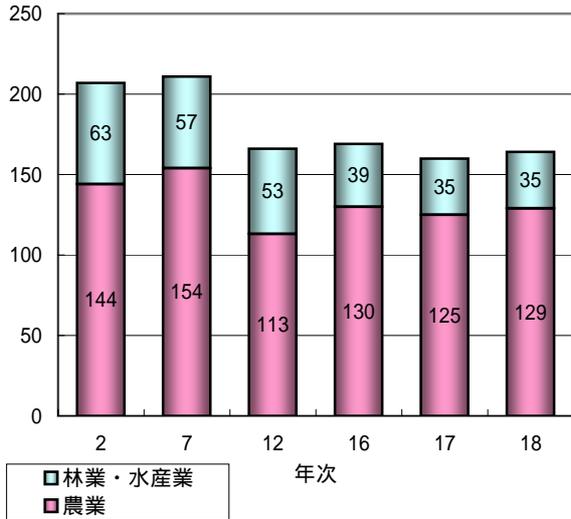


## 2) 本県農業の地位

県内純生産に占める第1次産業の割合(18年)は4.6%、全産業の就業人口に占める第1次産業の割合(18年)は13.6%と、それぞれ全国平均の1.5%、5.0%に比べ高い水準となっている。

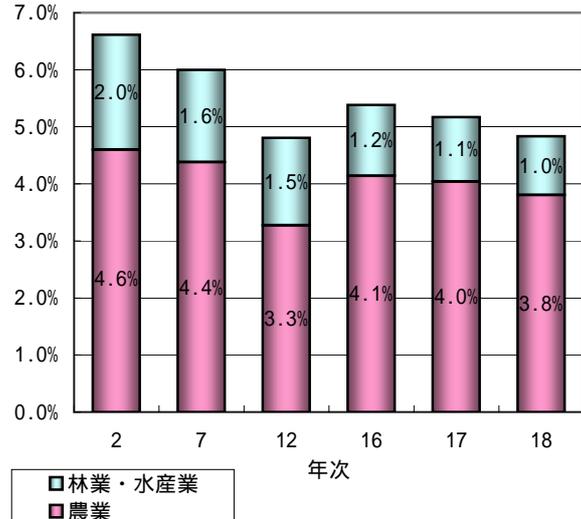
また、平成12年の産業連関表からみると、県全体の総移輸出額に占める第1次産業の割合は11%、農水産物の供給先である製造業(食料品)が13%で、第1次産業生産が県経済に及ぼす影響は依然として大きく、農林水産業は本県の基幹産業として位置づけられる。

農林水産業純生産額(単位:十億円)



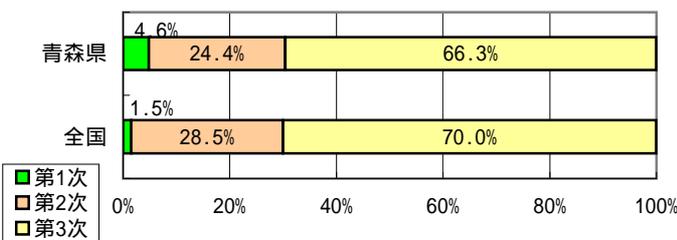
帰属利子分は、全て第3次産業から除外してある。

県内純生産に占める農林水産業の割合

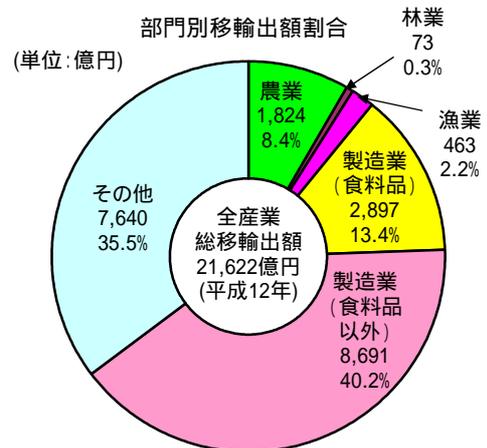


資料: 青森県県民経済計算

産業別純生産構成比(18年)

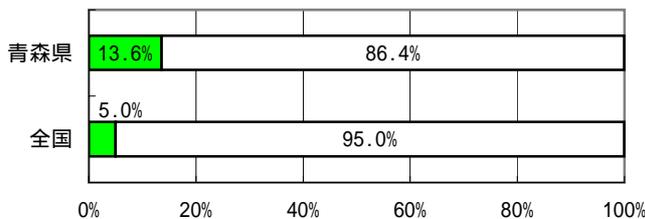


資料: 青森県県民経済計算、国民経済計算年報



資料: 平成12年青森県産業連関表

就業人口に占める第1次産業就業人口の割合(18年)



資料: 青森県県民経済計算、国民経済計算年報

主要指標

区 分	単位	年次	青森県	東 北	全 国	青 森 /東北	青 森 /全国	東北 順位	全国 順位
総 農 家 数	戸	17	61,587	463,460	2,848,166	13.3	2.2	5	21
販 売 農 家 数	"	"	50,790	370,786	1,963,424	13.7	2.6	5	18
専 兼 業 別	専 業 農 家 数	"	11,787	56,393	443,158	20.9	2.7	1	11
	一 種 兼 業 農 家	"	14,431	69,469	308,319	20.8	4.7	1	3
	二 種 兼 業 農 家	"	24,572	244,924	1,211,947	10.0	2.0	6	23
主 副 業 別	主 業 農 家	"	19,084	81,901	429,467	23.3	4.4	1	3
	準 主 業 農 家	"	11,655	108,097	443,389	10.8	2.6	6	12
	副 業 的 農 家	"	20,051	180,788	1,090,568	11.1	1.8	6	29
農 家 人 口	人	"	216,496	1,676,593	8,370,489	12.9	2.6	6	16
農 業 就 業 人 口	"	"	96,166	620,722	3,352,590	15.5	2.9	4	11
基 幹 的 農 業 従 事 者	"	"	70,481	385,301	2,240,672	18.3	3.1	2	11
耕 地 面 積	ha	20	157,700	874,700	4,628,000	18.0	3.4	1	4
田	"	"	84,000	624,800	2,516,000	13.4	3.3	6	10
畑	"	"	73,700	250,000	2,112,000	29.5	3.5	1	4
耕 地 利 用 率	%	18	86.8	86.9	93.9			3	32
水 稻 収 穫 量	t	20	300,600	2,374,100	8,823,000	12.7	3.4	6	11
りんご収穫量	"	19	457,900	635,110	840,100	72.1	54.5	1	1
乳用牛飼養頭数	頭	20	15,100	132,700	1,533,000	11.4	1.0	4	19
肉用牛飼養頭数	"	"	60,200	414,700	2,890,000	14.5	2.1	4	14
野菜収穫量	t	19	478,000		14,743,000		3.2		
農 業 産 出 額	億円	"	2,858	13,461	84,449	21.2	3.4	1	8
主 要 作 物	米	"	531	4,710	18,058	11.3	2.9	6	11
	野 菜	"	680	2,392	20,925	28.4	3.2	1	10
	果 実	"	778	1,773	7,557	43.9	10.3	1	1
	うちりんご	"	733					1	1
	畜 産	"	714	3,773	26,231	18.9	2.7	2	11
生 産 農 業 所 得	"	18	1,228	5,446	31,378	22.5	3.9	1	5
農 家 総 所 得	"	"	5,232	4,841	4,994	108.1	104.8	2	18
農 家 所 得	農 業 所 得	"	3,052	3,306	3,305	92.3	92.3	4	25
	農 業 所 得	"	1,776	1,314	1,228	135.2	144.6	1	5
	農業生産関連事業所得	"		9	5				
	農 外 所 得	"	1,276	1,983	2,072	64.3	61.6	6	39
農 業 依 存 度 /	%	"	58.2	39.7	37.2	146.6	156.5	1	6

資料：青森農林水産統計年報、農作物統計、園芸作物統計、生産農業所得統計、青森県の農業経済、農業構造動態調査報告書、青森統計・情報センター調査

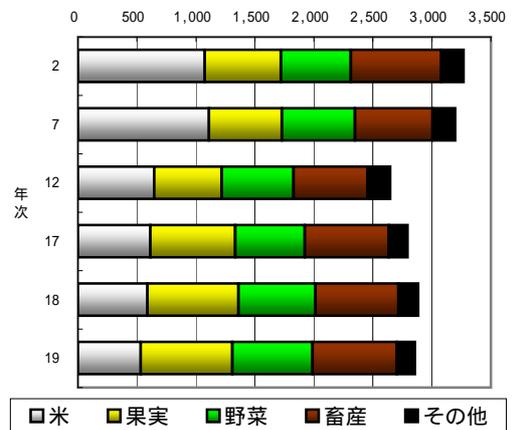
### 3) 農業産出額

#### 農業産出額とは

年内に生産された農産物総量（自家消費分も含む）から、種子及び飼料などの中間生産物を控除した各農産物数量に、農家の販売価格（農家受取価格）を乗じて産出したものである。

青森県農業産出額 (単位：億円)

年	合計	米	果実	野菜	畜産	その他
2	3,270	1,074	647	593	766	190
7	3,200	1,109	621	619	656	195
12	2,649	647	573	608	628	193
17	2,797	613	722	589	710	163
18	2,885	589	771	653	704	168
19	2,858	531	778	680	714	155



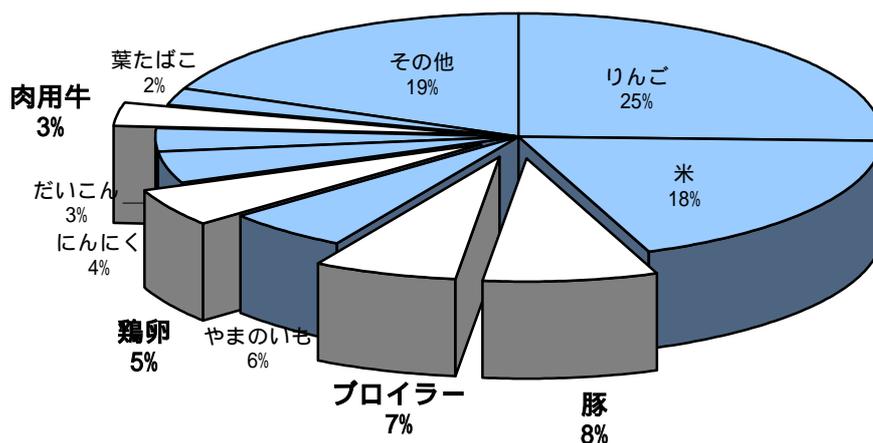
資料：生産農業所得統計

県内産出額上位10品目 (19年)

(単位：億円)

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
品目	りんご	米	豚	プロイラー	やまのいも	鶏卵	にんにく	だいこん	肉用牛	葉たばこ
産出額	733	531	218	188	159	140	121	88	84	66

資料：生産農業所得統計



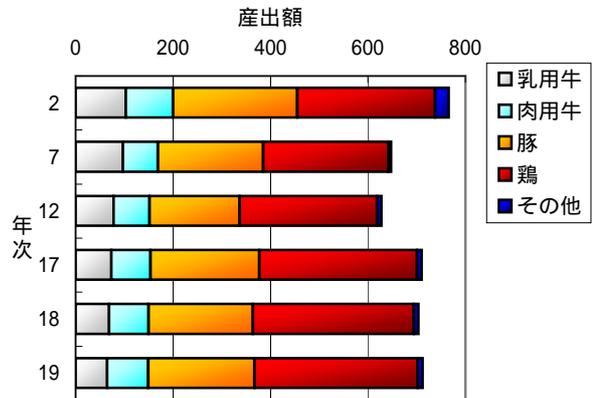
# 第2章 畜産の概要

## 1) 畜産産出額

平成19年の畜産産出額は714億円（対前年比1.4%増）となっており、畜種別では鶏335億円（対前年比1.5%増）、豚218億円（対前年比1.9%増）、肉用牛84億円（対前年比3.7%増）、乳用牛65億円（対前年比5.8%減）となっている。

（単位：億円）

年次	合計	乳用牛	肉用牛	豚	鶏	その他
2	766	103	97	255	283	28
7	648	97	72	216	257	6
12	628	78	74	185	282	9
17	710	73	81	223	324	10
18	704	69	81	214	330	10
19	714	65	84	218	335	11



資料：農林水産統計

## 2) 主要家畜の頭羽数

### (1) 飼養戸数、頭羽数（平成20年2月1日現在）

（単位：戸・頭・千羽）

飼養戸数	乳用牛			飼養戸数	肉用牛			飼養戸数	飼養頭数	採卵鶏		ブロイラー		
	飼養頭数				飼養頭数					飼養羽数		飼養戸数	飼養羽数	
	合計	2歳以上	2歳未満		合計	肉用種	乳用種			合計	成鶏めす			
306	15,100	10,900	4,240	1,310	60,200	27,200	33,000	171	402,800	31	5,884	4,624	53	5,699

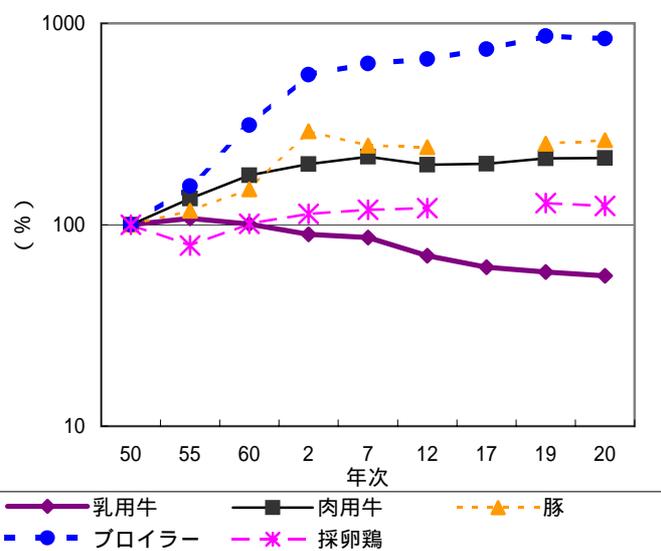
### (2) 家畜飼養頭羽数の対昭和50年比の推移

平成20年の家畜飼養頭羽数を昭和50年と比較してみると、ブロイラー（839%）、豚（263%）、肉用牛（214%）の伸びが高い。

（単位：パーセント）

年次	乳用牛	肉用牛	豚	採卵鶏	ブロイラー
50	100	100	100	100	100
55	108	135	117	79	156
60	101	176	150	101	312
2	90	200	291	113	556
7	86	218	248	119	633
12	70	199	243	121	665
17	62	201			745
19	58	214	253	128	863
20	56	214	263	124	839

（対数表示）



平成17年の豚・採卵鶏は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

# 第3章 家畜飼養動向

## 1) 乳用牛

### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

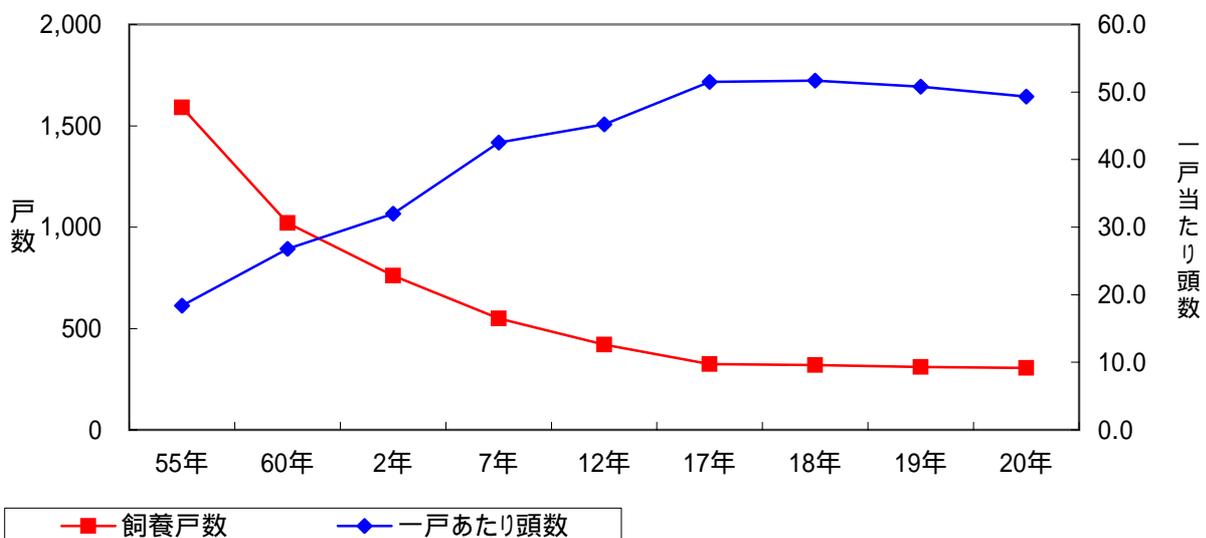
飼養戸数は年々減少し、平成20年は対前年5戸減の306戸となった。飼養頭数も減少傾向にあり、平成20年は対前年比4.4%減の15,100頭となった。

(単位:戸、頭)

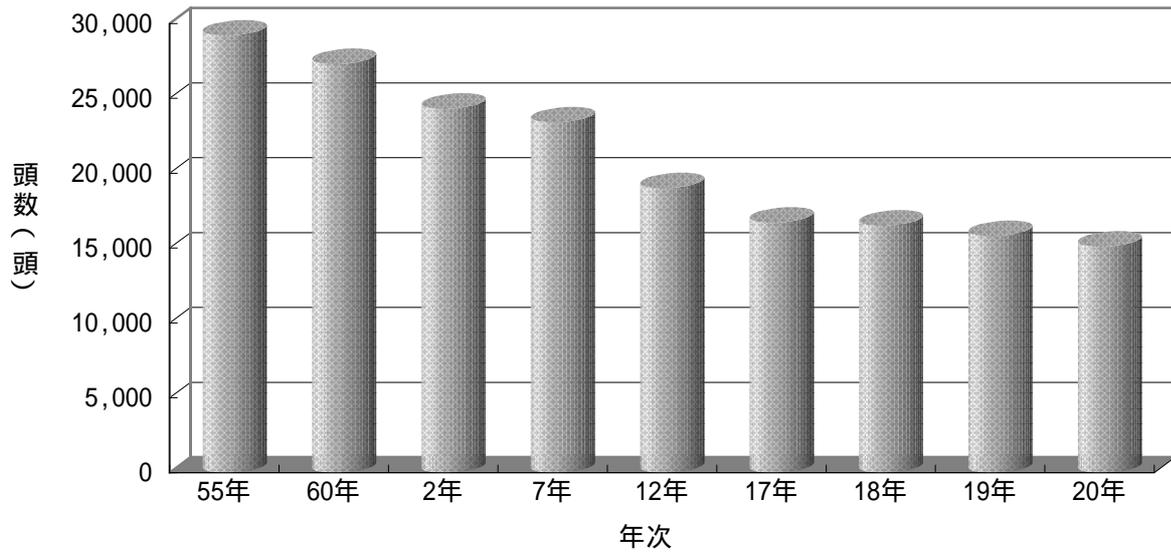
区 分	飼養戸数	飼 養 頭 数 ( め す )								一 戸 あたり 頭 数
		合計	2 歳 以 上						2 歳 未 満	
			計	経 産 牛			未 経 産 牛			
				小 計	搾 乳 牛	乾 乳 牛				
青 森 県	昭55.2.1	1,590	29,200	21,100	18,300	14,820	3,480	2,810	8,090	18.4
	60.2.1	1,020	27,300	19,510	17,200	14,000	3,200	2,310	7,820	26.8
	平 2.2.1	760	24,300	16,300	15,200	12,900	2,250	1,120	8,040	32.0
	7.2.1	550	23,400	16,200	14,700	12,600	2,060	1,490	7,210	42.5
	12.2.1	420	19,000	13,900	12,700	11,000	1,700	1,200	5,170	45.2
	17.2.1	324	16,700	11,500	10,500	8,970	1,540	940	5,250	51.5
18.2.1	青森	319	16,500	11,500	11,000	9,420	1,610	440	5,060	51.7
	全国	26,600	1,635,000	1,130,000	1,046,000	899,900	146,100	84,400	504,900	61.5
19.2.1	青森	311	15,800	11,200	10,900	9,300	1,590	310	4,570	50.8
	全国	25,400	1,592,000	1,093,000	1,011,000	871,200	140,100	81,200	499,600	62.7
20.2.1	青森	306	15,100	10,900	10,600	9,170	1,470	260	4,240	49.3
	全国	24,400	1,533,000	1,075,000	998,200	861,500	136,700	76,500	458,000	62.8

資料：畜産統計

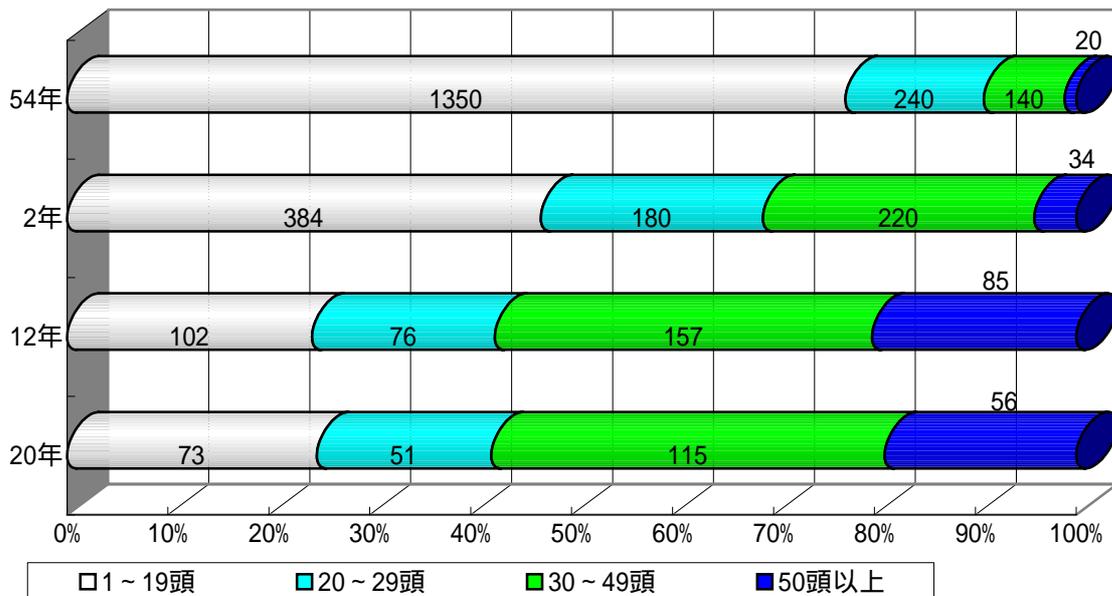
飼養戸数及び一戸あたりの飼養頭数の推移



### 飼養頭数の推移



### 頭数規模別飼養戸数とその割合 (成畜)



資料：畜産統計

### (2) 酪農近代化計画樹立市町村 (平成18年3月31日)

平内町、鯉ヶ沢町、十和田市、三沢市、野辺地町、横浜町、東北町、六ヶ所村、むつ市、東通村、八戸市、田子町、階上町、新郷村 (14市町村)

## 2) 肉用牛

### (1) 飼養戸数及び飼養頭数

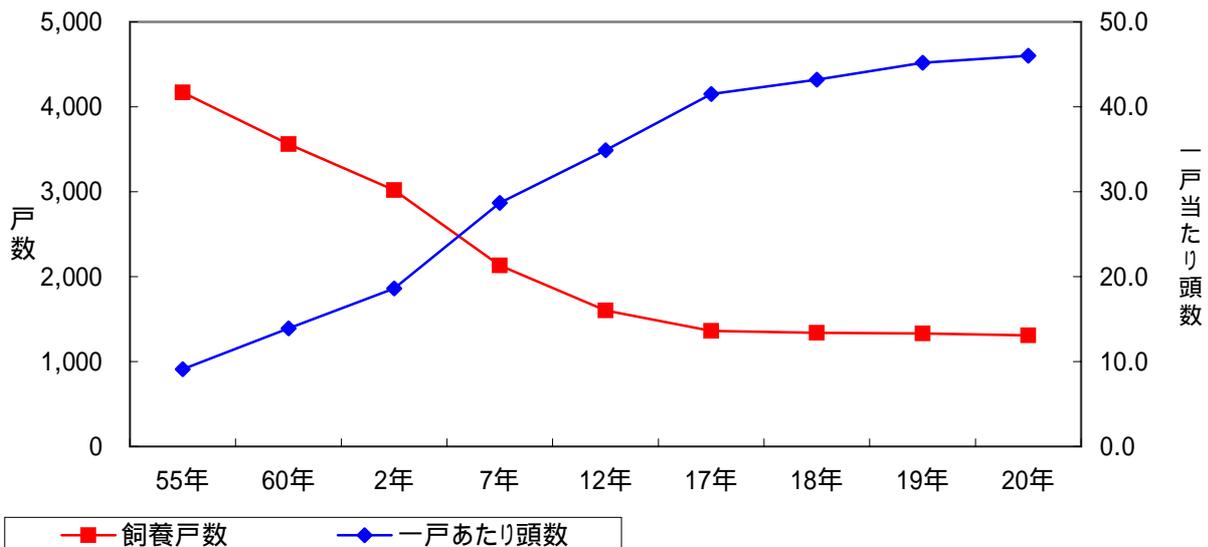
飼養戸数は小規模階層の経営離脱等により年々減少し、平成20年は対前年20戸減の1,310戸となった。飼養頭数は、平成20年は前年に引き続き増加し、対前年比0.2%増の60,200頭となった。

(単位:戸、頭)

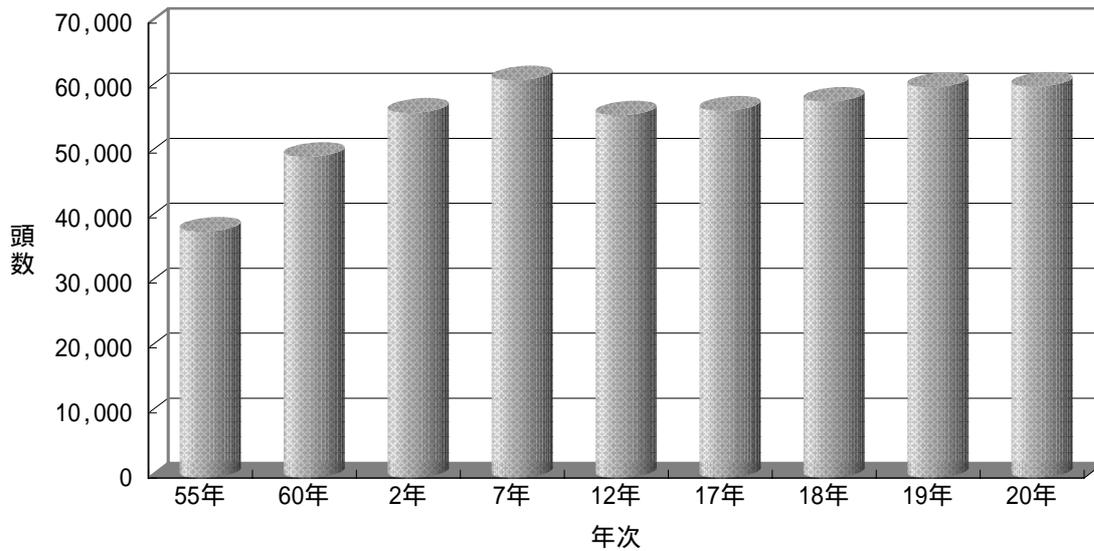
区分	飼養戸数	飼養頭数						一戸当たり頭数	
		計	肉用種めす		肉用種おす		乳用種		
			2歳未満	2歳以上	2歳未満	2歳以上			
青森県	昭55.2.1	4,170	37,910	4,930	13,810	5,640	3,100	10,130	9.1
	60.2.1	3,560	49,400	5,800	14,600	6,680	2,780	19,500	13.9
	平 2.2.1	3,020	56,200	17,600		8,520		30,100	18.6
	7.2.1	2,130	61,200	17,800		13,700		29,600	28.7
	12.2.1	1,600	55,800	16,700		9,700		29,400	34.9
	17.2.1	1,360	56,500	16,200		9,110		31,200	41.5
18.2.1	青森	1,340	57,900	17,400		7,930		32,600	43.2
	全国	85,600	2,755,000	1,090,000		613,000		1,052,000	32.2
19.2.1	青森	1,330	60,100	18,000		8,040		34,000	45.2
	全国	82,300	2,806,000	1,113,000		628,400		1,064,000	34.1
20.2.1	青森	1,310	60,200	18,700		8,580		33,000	46.0
	全国	80,400	2,890,000	1,169,000		653,800		1,067,000	35.9

資料：畜産統計

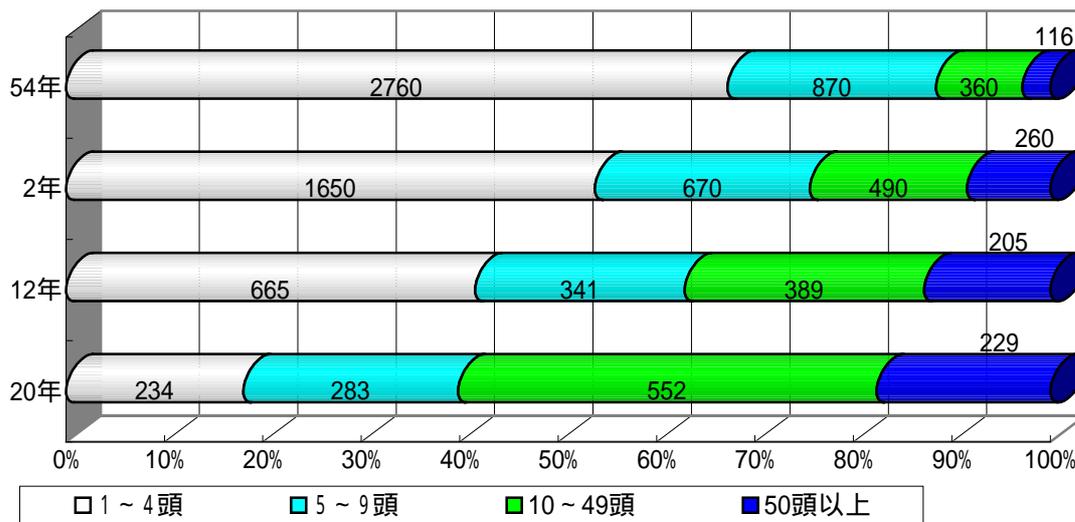
飼養戸数及び一戸あたりの飼養頭数の推移



## 飼養頭数の推移



## 頭数規模別飼養戸数とその割合（成畜）



資料：畜産統計

## （2）肉用牛近代化計画樹立市町村（平成18年3月31日）

青森市、平内町、今別町、平川市、つがる市、深浦町、五所川原市、十和田市、三沢市、七戸町、おいらせ町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、むつ市、大間町、東通村、八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村（25市町村）

### 3) 豚

#### 飼養戸数及び飼養頭数

飼養戸数は、ここ数年9～10%の範囲で減少を続け、平成20年は前回に比べ11戸減の171戸となった。飼養頭数は、平成7年以降ほぼ横ばいで推移しており、平成20年は前回に比べ4.2%増の402,800頭となった。一戸あたりの飼養頭数は年々増加し、前回に比べ11.0%増の2,356頭となった。

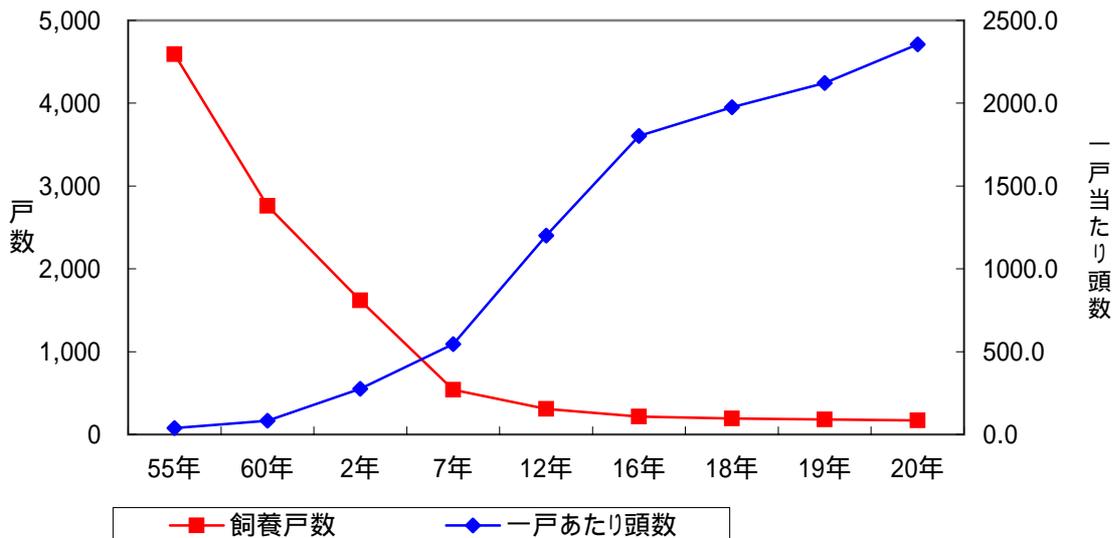
(単位:戸、頭)

区 分		飼 養 戸 数		飼 養 頭 数		一戸あたり 頭数
			子取り用めす豚		子取り用めす豚	
青森県	昭55.2.1	4,590	3,610	179,610	23,760	39.1
	60.2.1	2,760	2,540	229,600	29,800	83.2
	平 2.2.1	1,620	1,240	445,100	43,500	274.8
	7.2.1	540	480	378,700	39,600	545.2
	12.2.1	310	290	372,000	36,200	1,200.0
	16.2.1	216	190	389,300	35,600	1,802.3
18.2.1	青森	191	168	377,500	34,500	1,976.4
	全国	7,800	6,780	9,620,000	907,100	1,233.3
19.2.1	青森	182	159	386,400	32,900	2,123.1
	全国	7,550	6,560	9,759,000	915,000	1,292.6
20.2.1	青森	171	153	402,800	35,600	2,355.6
	全国	7,230	6,250	9,745,000	910,100	1,347.9

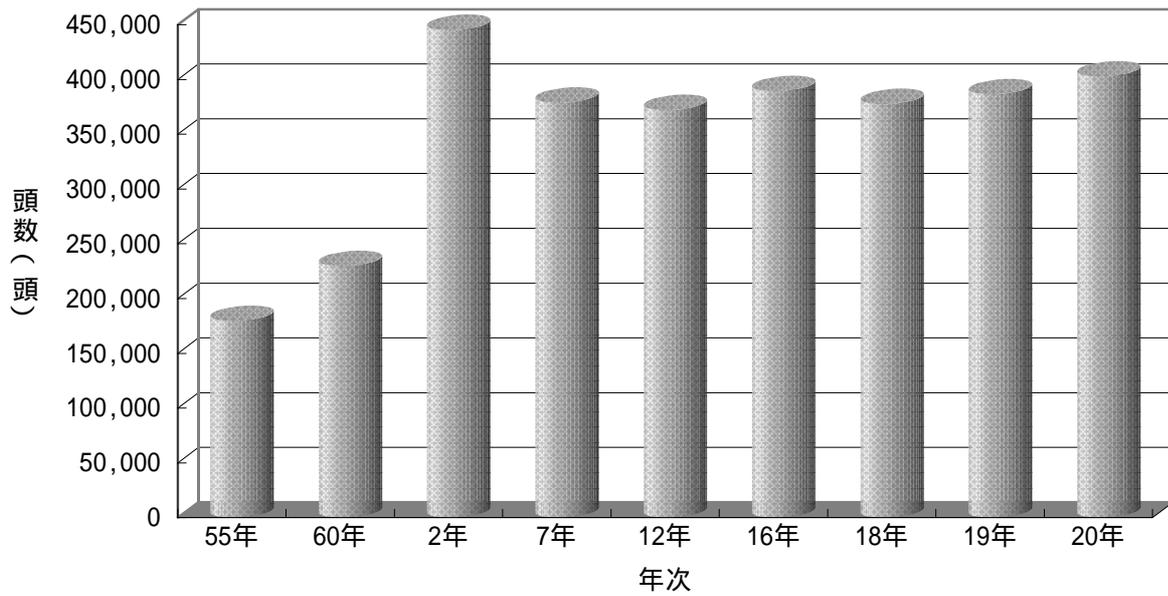
平成17年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料：畜産統計

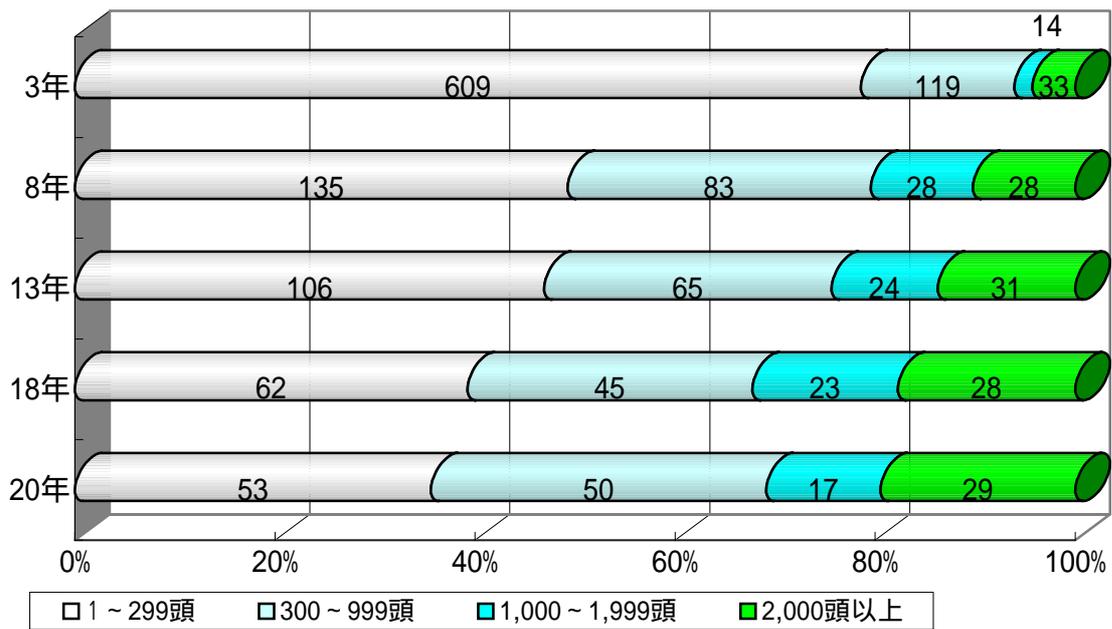
#### 飼養戸数及び一戸あたりの飼養頭数の推移



### 飼養頭数の推移



### 頭数規模別飼養戸数とその割合 (肥育豚)



資料：畜産統計

## 4) 採卵鶏

### 飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数は、ここ数年減少傾向であり、平成20年は対前年7戸減の31戸であった。  
 飼養羽数は、平成20年は前年に比べ3.4%減の5,884千羽となった。一戸あたりの飼養羽数は全国平均の約3.5倍にあたる149,200羽と全国一の規模となっている。

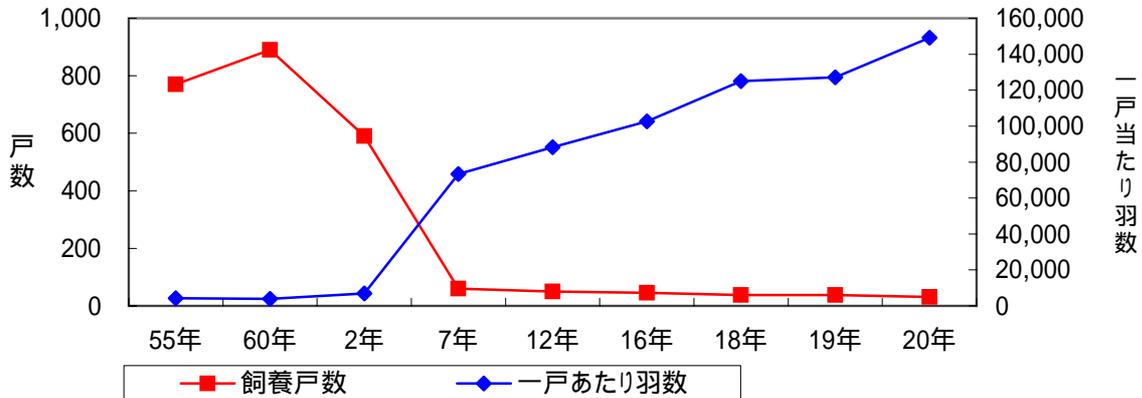
(単位:戸、千羽)

区分	飼養戸数	飼養羽数(採卵鶏)			一戸あたり 成鶏めす羽数 (種鶏除く)	
		計	成鶏めす	ひな		
青森県	昭55.2.1	770	3,743	3,321	419	4.4
	60.2.1	890	4,798	3,545	1,253	4.0
	平 2.2.1	590	5,376	4,066	1,310	6.9
	7.2.1	60	5,641	4,402	1,239	73.4
	12.2.1	50	5,747	4,479	1,268	89.6
	16.2.1	45	5,711	4,617	1,094	102.6
18.2.1	青森	38	6,031	4,755	1,276	125.1
	全国	3,610	176,955	136,926	40,039	37.9
19.2.1	青森	38	6,088	4,828	1,260	127.1
	全国	3,460	183,224	142,765	40,459	41.3
20.2.1	青森	31	5,884	4,624	1,260	149.2
	全国	3,300	181,664	142,523	39,141	43.2

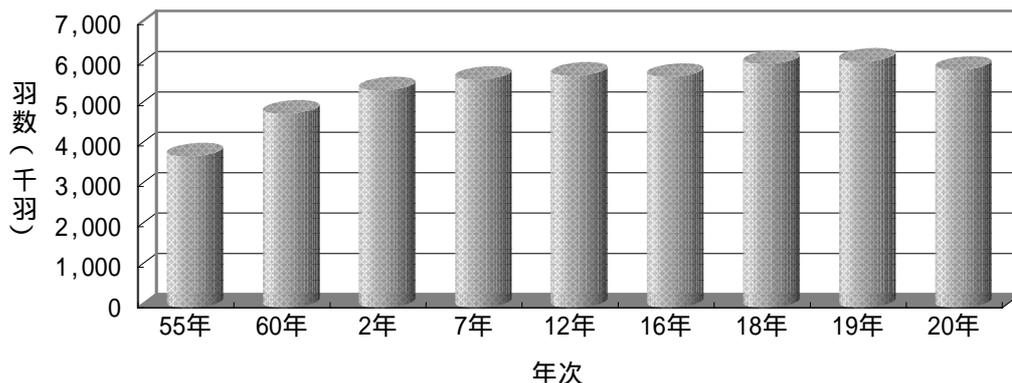
平成17年は農業センサス実施年のため調査は中止している。

資料: 畜産統計

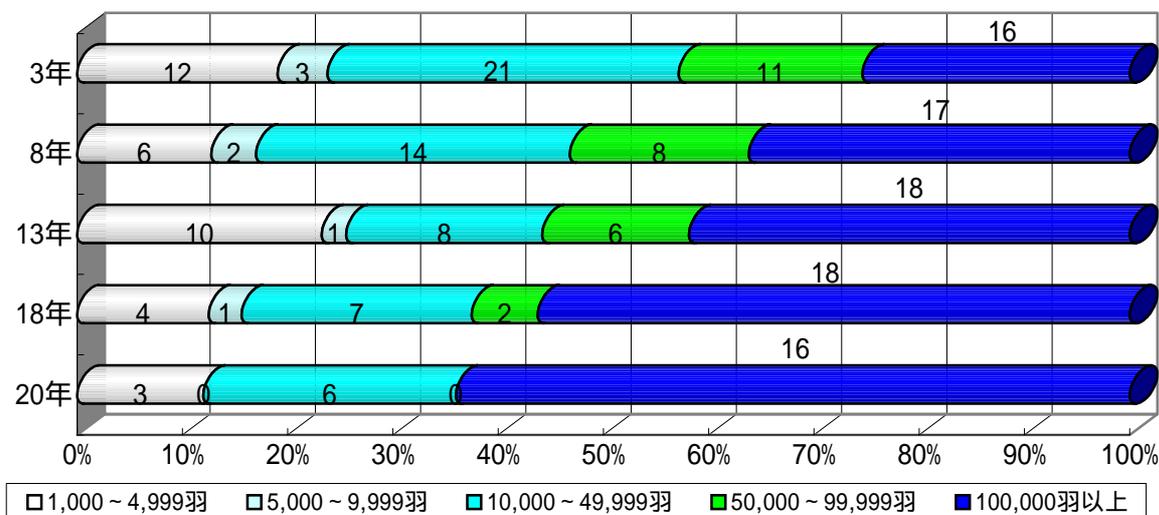
### 飼養戸数及び一戸あたりの飼養羽数の推移



### 飼養羽数の推移



羽数規模別飼養戸数とその割合（成鶏めす）



資料：畜産統計

## 5) ブロイラー

### 飼養戸数及び飼養羽数

飼養戸数はここ数年50戸前後で推移しており、対前年比3戸減の53戸となった。

飼養羽数は、対前年比2.8%減の5,699千羽となった。

一戸あたりの飼養羽数は対前年比2.7%増の107,500羽となった。

(単位：戸、千羽)

区 分		昭和 55年	60年	平成 2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
青 森 県	飼養戸数	39	43	46	46	48	53	60	56	53
	飼養羽数	1,056	2,119	3,777	4,295	4,517	5,060	5,809	5,861	5,699
	一戸当たり 羽数	27.1	49.3	82.1	93.4	94.1	95.5	96.8	104.7	107.5
全 国	飼養戸数	-	7,025	5,529	3,853	3,084	2,654	2,593	2,583	2,456
	飼養羽数	-	150,215	150,445	119,682	108,786	102,520	104,236	105,287	102,987
	一戸当たり 羽数	-	21.4	27.2	31.1	35.3	38.6	40.2	40.8	41.9

資料：食鳥流通統計

## 6) その他

### (1) 馬

軽種馬

(単位:戸、頭)

区 分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
飼養戸数	272	199	165	146	102	73	67	63	60
飼養頭数	2,212	2,155	1,872	1,740	1,006	830	667	537	520

資料：県畜産課調査

軽種馬以外

(単位:戸、頭)

区 分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
飼養戸数	359	435	280	320	277	228	189	178	160
飼養頭数	683	1,108	881	1,751	1,522	1,580	1,490	1,377	1,287

資料：県畜産課調査

### (2) めん羊

(単位:頭)

区 分	50年	55年	60年	2年	6年	12年	17年	18年	19年
飼養頭数	480	463	1,530	610	430	165	132	82	111

資料：家畜改良関係資料(6年以前は畜産統計)

### (3) 山羊

(単位:頭)

区 分	50年	55年	60年	2年	6年	12年	17年	18年	19年
飼養頭数	390	391	180	110	80	85	73	72	43

資料：家畜改良関係資料(6年以前は畜産統計)

### (4) みつばち

(単位:戸、群)

区 分	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年	20年
飼養戸数	169	160	118	96	92	75	90	89	80
飼養羽数	7,779	7,610	5,553	5,160	5,630	6,065	8,105	7,665	6,440

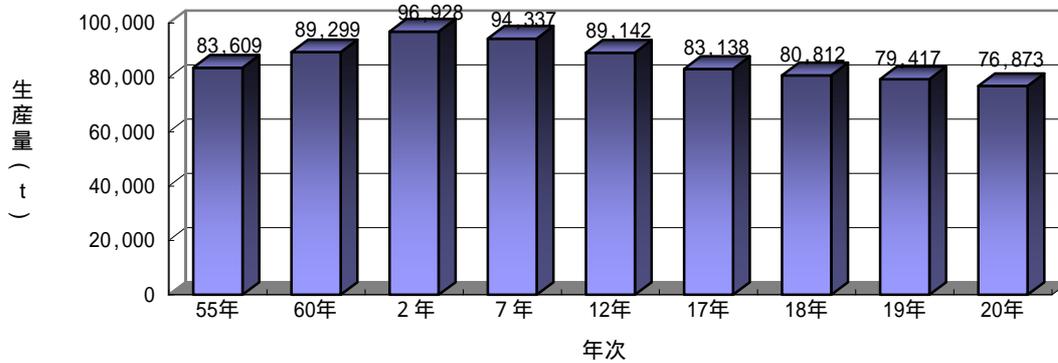
資料：県畜産課調査

# 第4章 畜産物の流通と価格

## 1) 牛 乳

### (1) 生乳生産量の推移

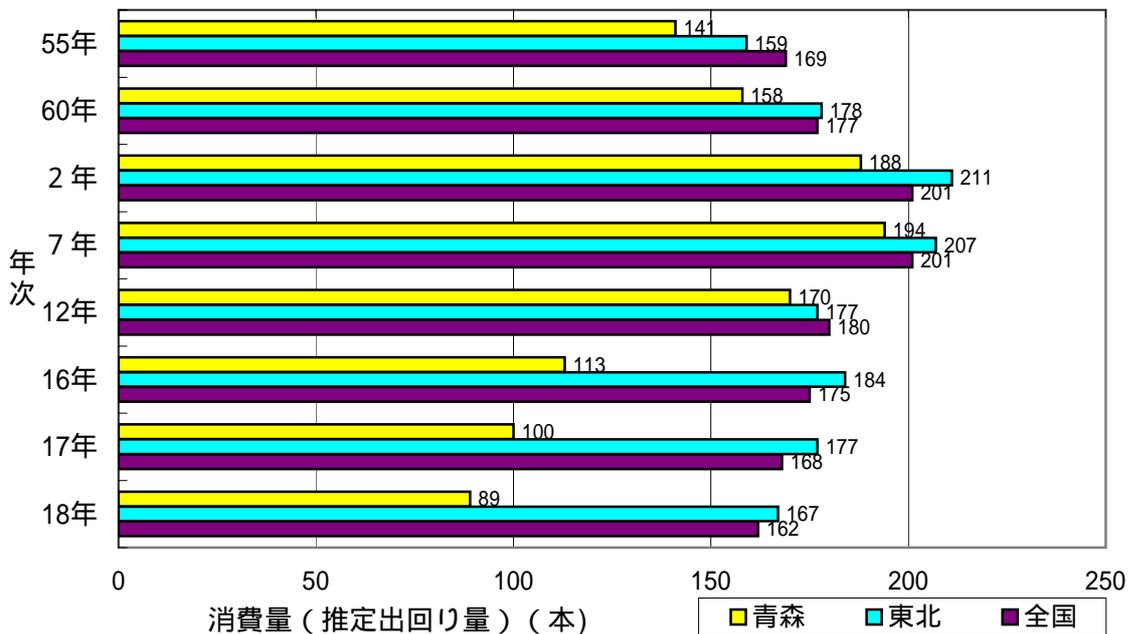
平成20年の生乳生産量は76,873t（対前年比3.2%減）となり、前年より2,544t減少した。



資料：牛乳乳製品統計

### (2) 牛乳の消費量（推定出回り量）の推移

本県の平成18年の年間1人当たりの牛乳の消費量（推定出回り量）は、89本（200cc換算）となった。



推定出回り量 = 飲用牛乳生産量 + 県外移入量 - 県外移出量

資料：牛乳乳製品統計

### (3) 生乳の価格

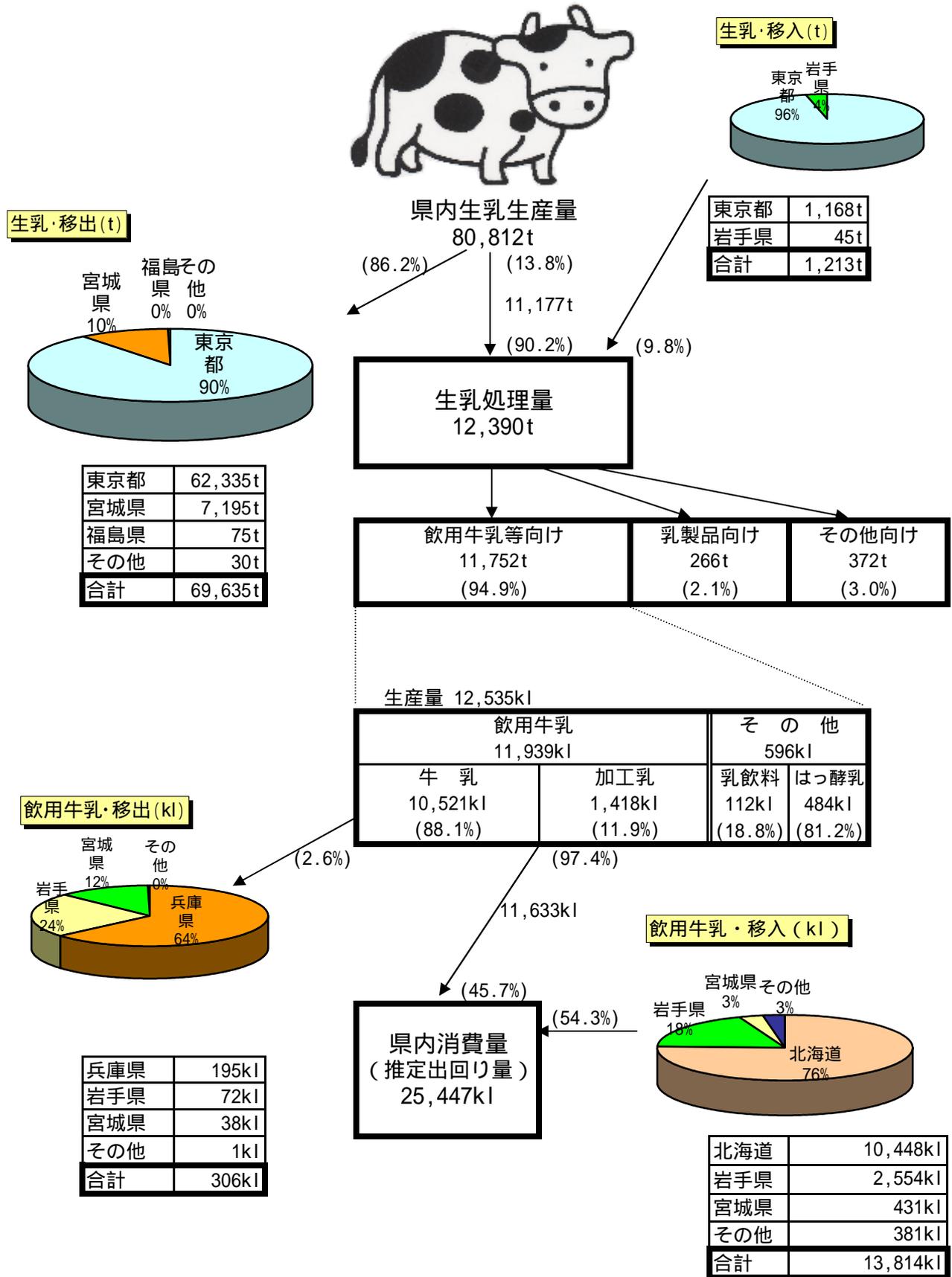
(単位:円)

乳価	年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
プール乳価 (補給金含む)		101.37	101.4	88.27	84.06	81.44	82.97	79.78	80.76

14年度以降は運賃も含む

資料：全農青森県本部調査

(4) 生乳の流通経路 (18年次)



## 2) 肉用牛

### (1) 子牛の取引頭数

平成19年の子牛の取引頭数は15,059頭（対前年比5.2%増）と前年より751頭増加した。

（単位：頭）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
子牛	肉専用種	7,127	8,033	8,535	6,657	7,360	5,856	6,492	6,609
	乳用種	935	3,811	3,668	9,507	8,220	8,603	7,816	8,450
	計	8,062	11,844	12,203	16,164	15,580	14,459	14,308	15,059
成牛		7,736	10,680	8,839	9,257	8,152	3,679	3,084	2,653

資料：県畜産課調査

### (2) 子牛の価格（県家畜市場）

黒毛和種の子牛価格は、県基幹種雄牛「第1花園」の全国的な評価の高まりなどにより、平成15年から飛躍的に上昇し、平成19年には555千円（対前年比9.7%増）となった。

（単位：千円）

		55年		60年		2年		7年	12年	17年	18年	19年
		春	秋	春	秋	春	秋	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月	1~12月
平均価格(消費税抜き)		267	284	161	205	330	260	241	337	462	498	545
品別	日本短角種	272	277	177	205	273	187	127	107	209	219	279
	黒毛和種	285	305	157	206	355	318	279	355	470	506	555
	交雑種	-	-	-	-	-	283	183	186	263	262	206

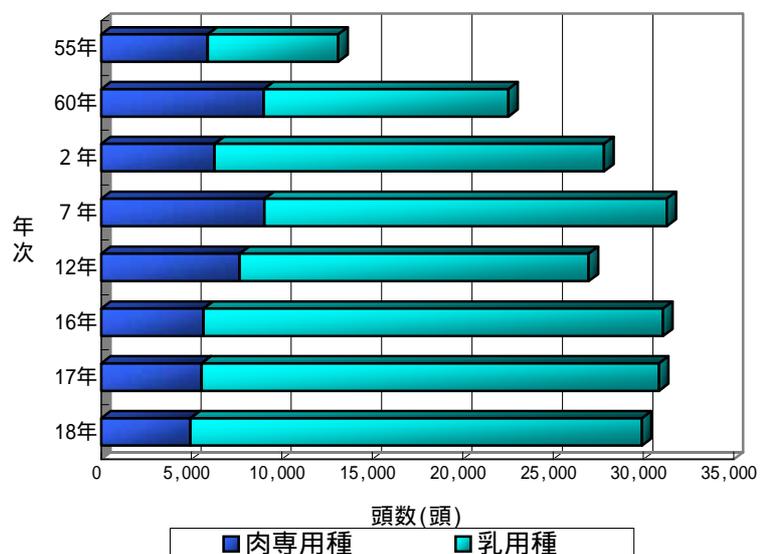
資料：県畜産課調査

### (3) 肉用牛（成牛）の出荷頭数の推移

平成18年の出荷頭数は、29,925頭（対前年比3.1%減）となり、種類別内訳は乳用種及びその他83.5%、肉用種16.5%となっている。

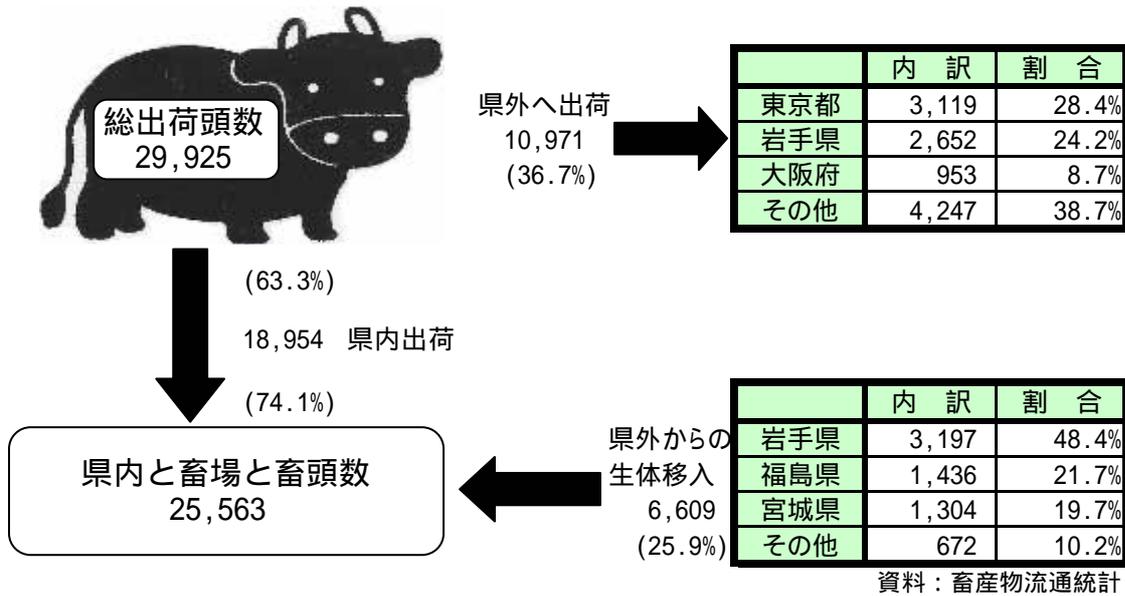
（単位：頭）

	肉専用種	乳用種・その他	合計
55年	5,898	7,221	13,119
60年	9,003	13,526	22,529
2年	6,283	21,545	27,828
7年	9,045	22,243	31,288
12年	7,671	19,305	26,976
16年	5,673	25,414	31,087
17年	5,563	25,305	30,868
18年	4,948	24,977	29,925

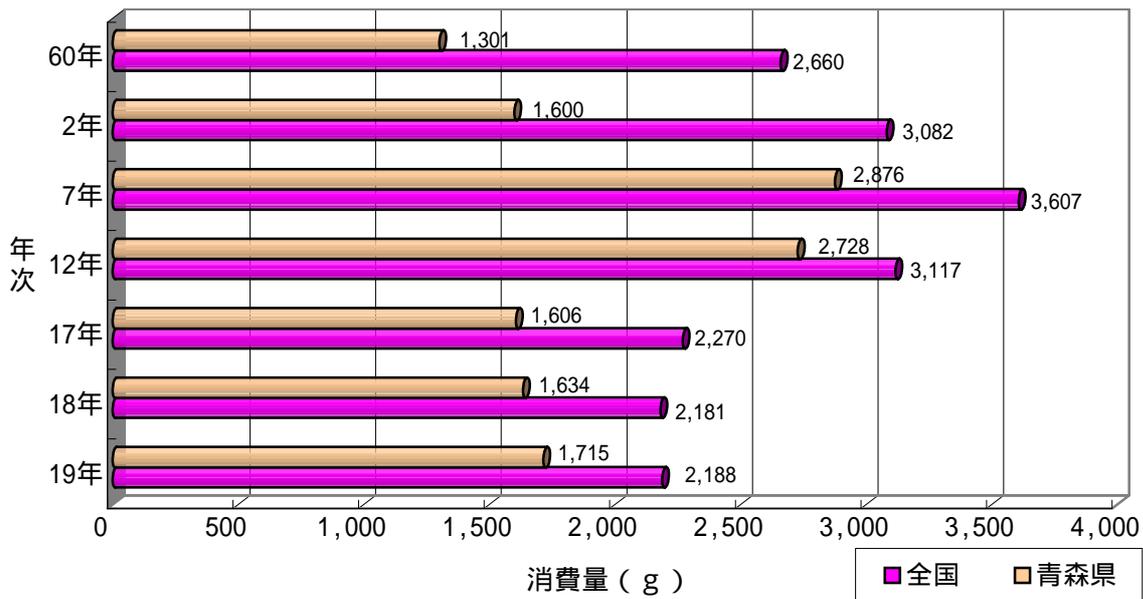


資料：畜産物流通統計

(4) 肉用牛の流通 (18年次、単位:頭)



(5) 牛肉の消費量の推移 (年間一人当たり)



(6) 牛肉の卸売価格 (東京市場)

(単位：円 / kg)

規格 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
和牛去勢「中」	1,851	1,806	1,262	998	1,115	1,297	1,278	1,178
乳牛去勢「中」	1,329	1,318						

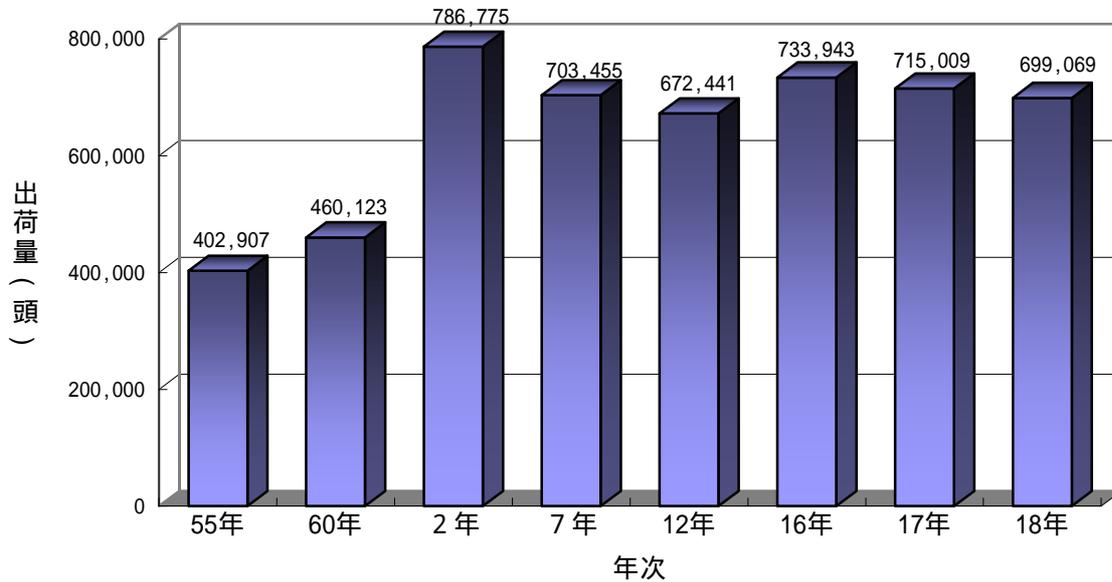
資料：食肉流通統計

2年より省令規格(去勢牛の「B-2」「B-3」を合わせたもの)

### 3) 豚

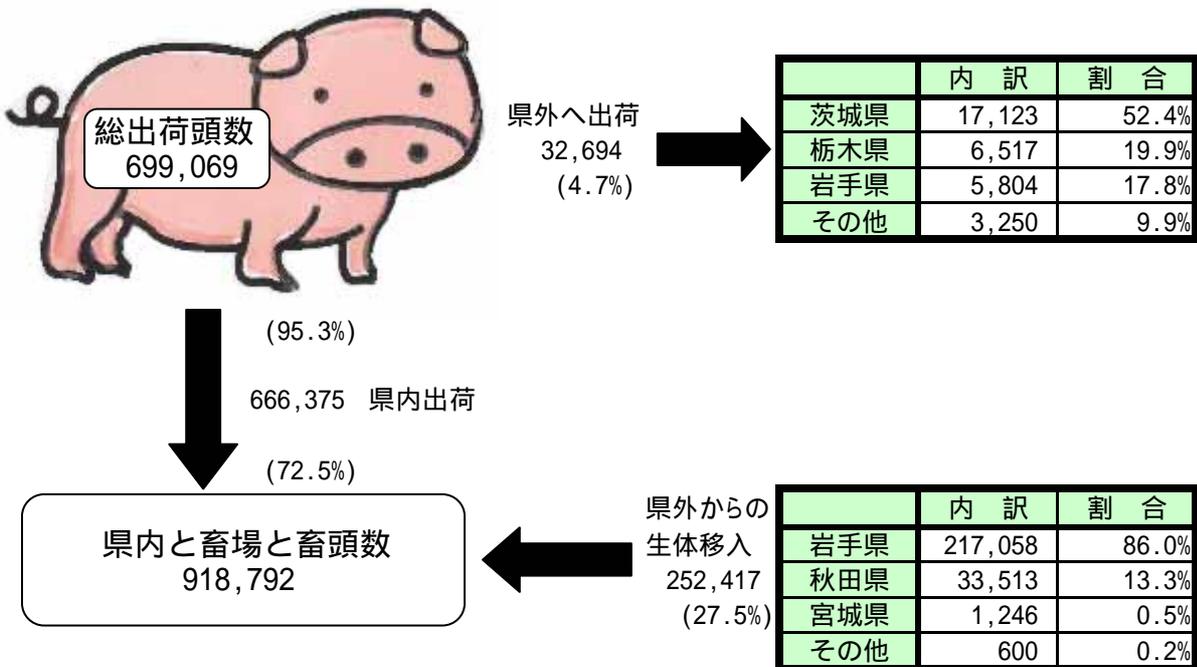
#### (1) 肉豚の出荷頭数の推移

平成18年の肉豚の出荷頭数は699,069頭（対前年比2.2%減）となり、前年より15,940頭減少した。



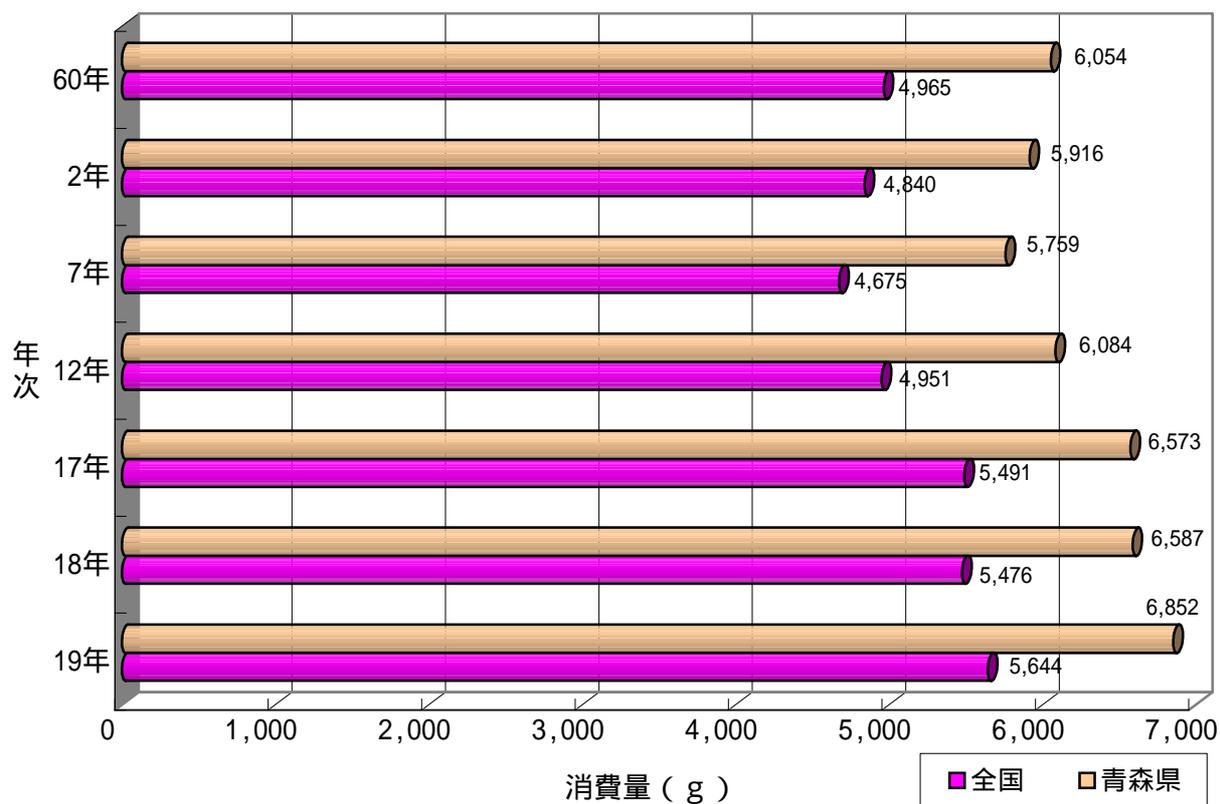
資料：畜産物流通統計

#### (2) 肉豚の流通（18年次、単位：頭）



資料：畜産物流通統計

### (3) 豚肉の消費量の推移（年間一人当たり）



資料：家計調査年報 計調査年報

### (4) 子豚の価格

(単位：円/頭)

区分 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
子豚	25,957	25,606	22,186	18,846	14,606	19,075	19,942	21,208

資料：県畜産課調査

17年までは三本木産地家畜市場、18年以降はおいらせ農協産地家畜市場における平均子豚価格。

### (5) 豚肉の卸売価格（東京市場）

(単位：円/kg)

規格 \ 年	55年	60年	2年	7年	12年	16年	17年	18年
豚「省令規格」	628	601	486	458	436	482	480	476

資料：畜産物流通統計

省令規格とは、極上・上・中・並・等外の規格のうち、「上」規格以上のものを指す

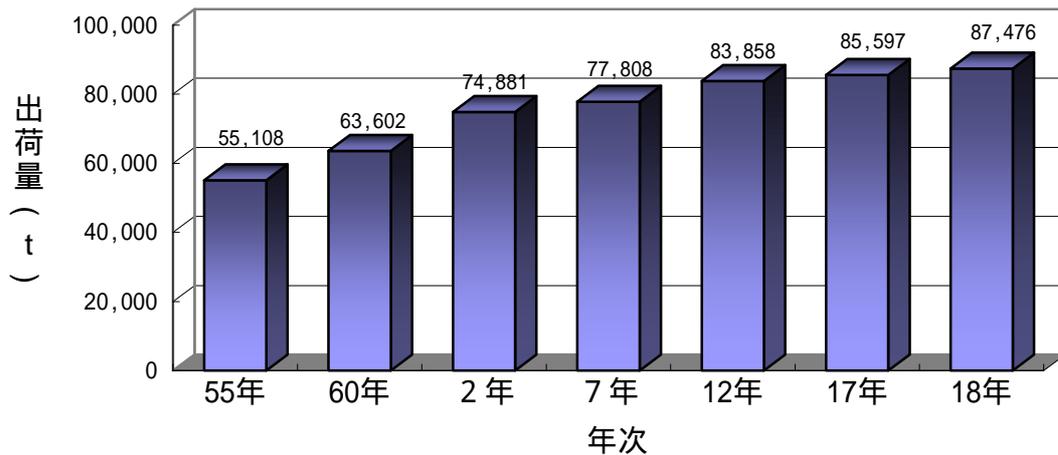
## 4) 鶏 卵

### (1) 鶏卵の生産量・出荷量の推移

平成18年の鶏卵の生産量は89,288t（対前年比2.1%増）となり、出荷量は87,476t（対前年比2.2%増）となった。

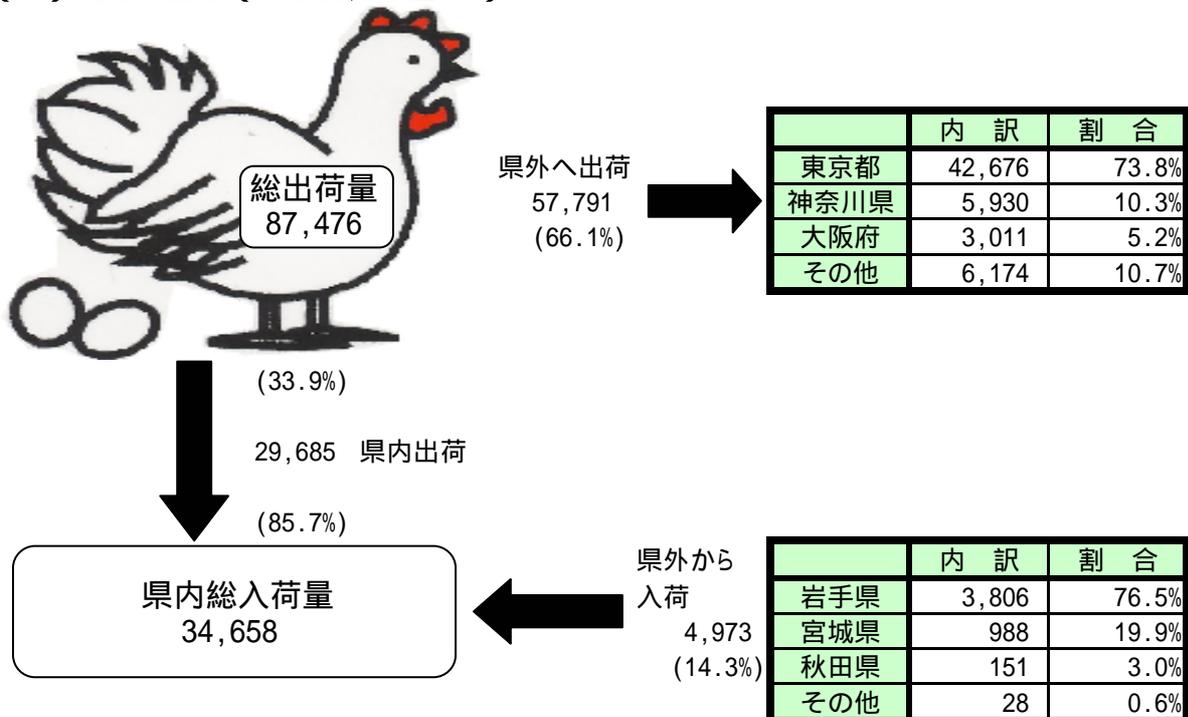
（単位：t）

	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年
生産量	56,190	65,027	76,537	80,448	85,898	87,432	89,288
出荷量	55,108	63,602	74,881	77,808	83,858	85,597	87,476



資料：畜産物流通統計

### (2) 鶏卵の流通（18年次、単位：t）

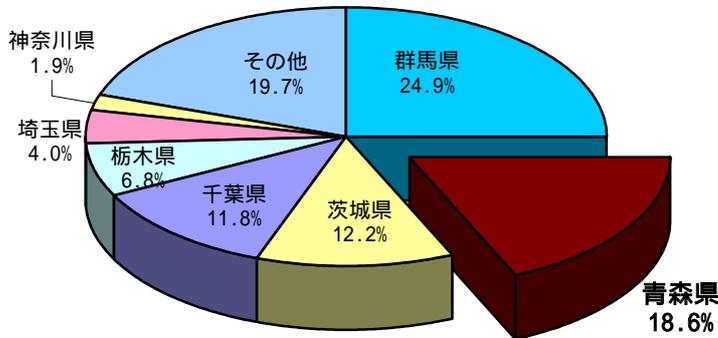


資料：畜産物流通統計

### (3) 東京市場入荷量に占める県産鶏卵の割合 (18年次)

東京市場入荷量は、本県産が全国で2番目に多く、42,676tと全体の18.6%を占めている。

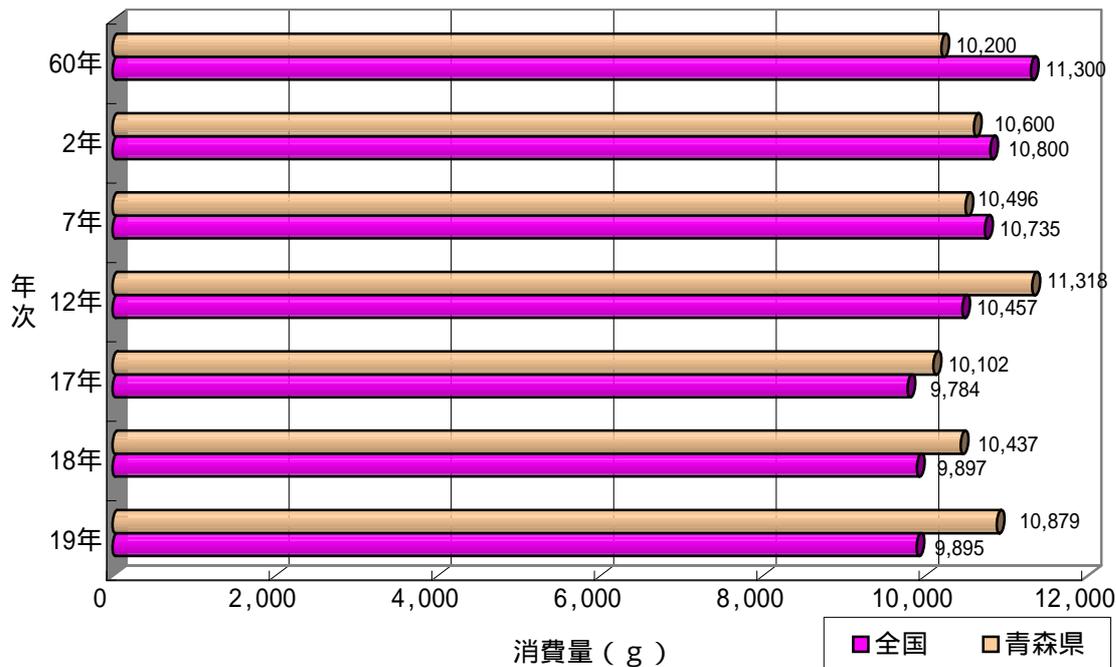
(単位：t)



	入荷量
合計	229,856
群馬県	57,195
青森県	42,676
茨城県	28,073
千葉県	27,213
栃木県	15,586
埼玉県	9,297
神奈川県	4,446
その他	45,370

資料：畜産物流通統計

### (4) 鶏卵の消費量の推移 (年間一人当たり)



資料：家計調査年報

### (5) 鶏卵の卸売価格 (東京市場)

(単位：円/kg)

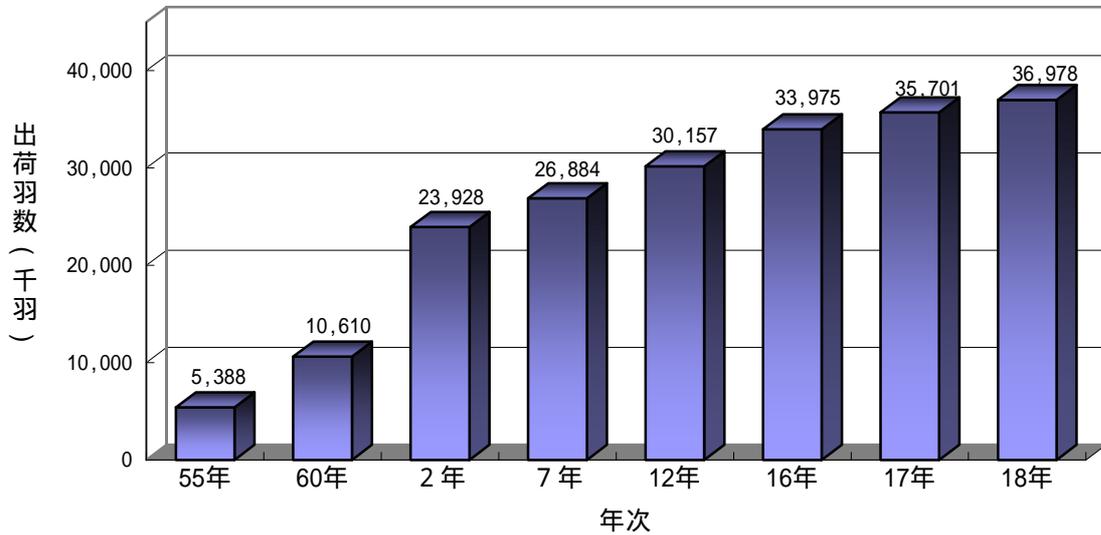
規格 \ 年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
規格「M」	300	269	229	188	189	186	184	167

資料：全農畜産販売部情報  
(平成8年まで畜産物流通統計)

# 5) プロイラー

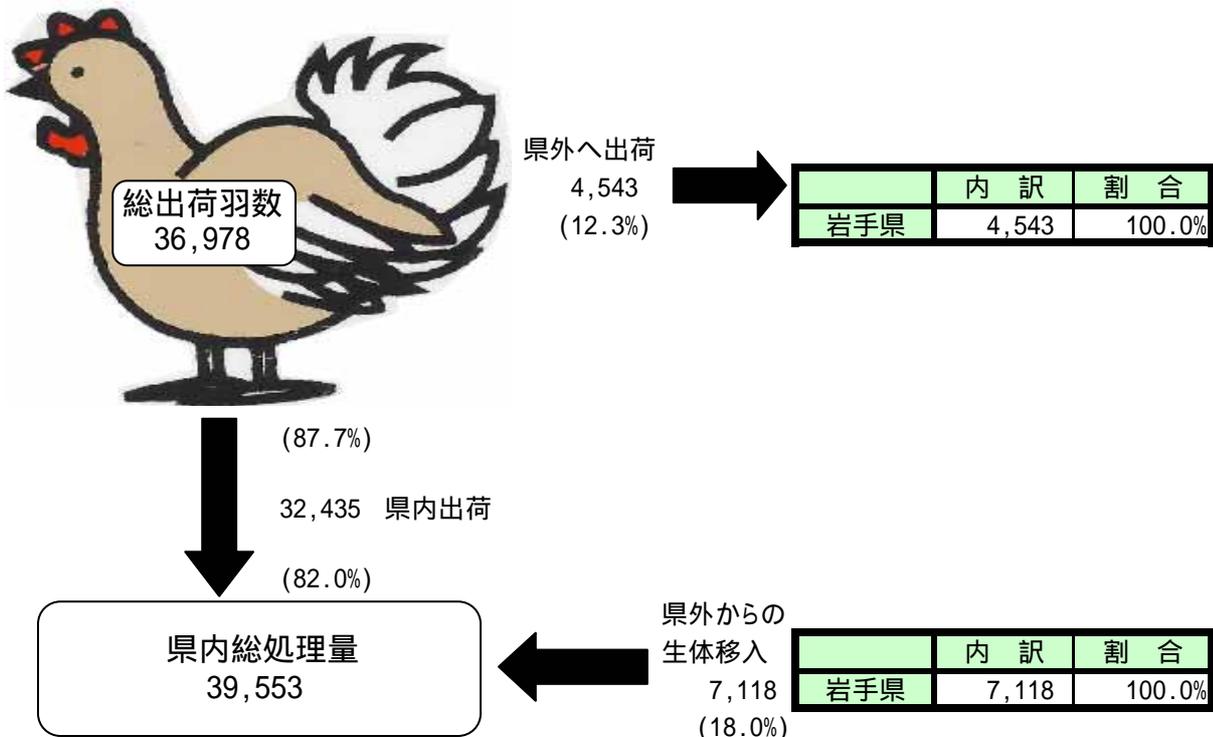
## (1) プロイラー出荷羽数の推移

平成18年の出荷羽数は、36,978千羽（対前年比3.6%増）となり、引き続き増加傾向にある。



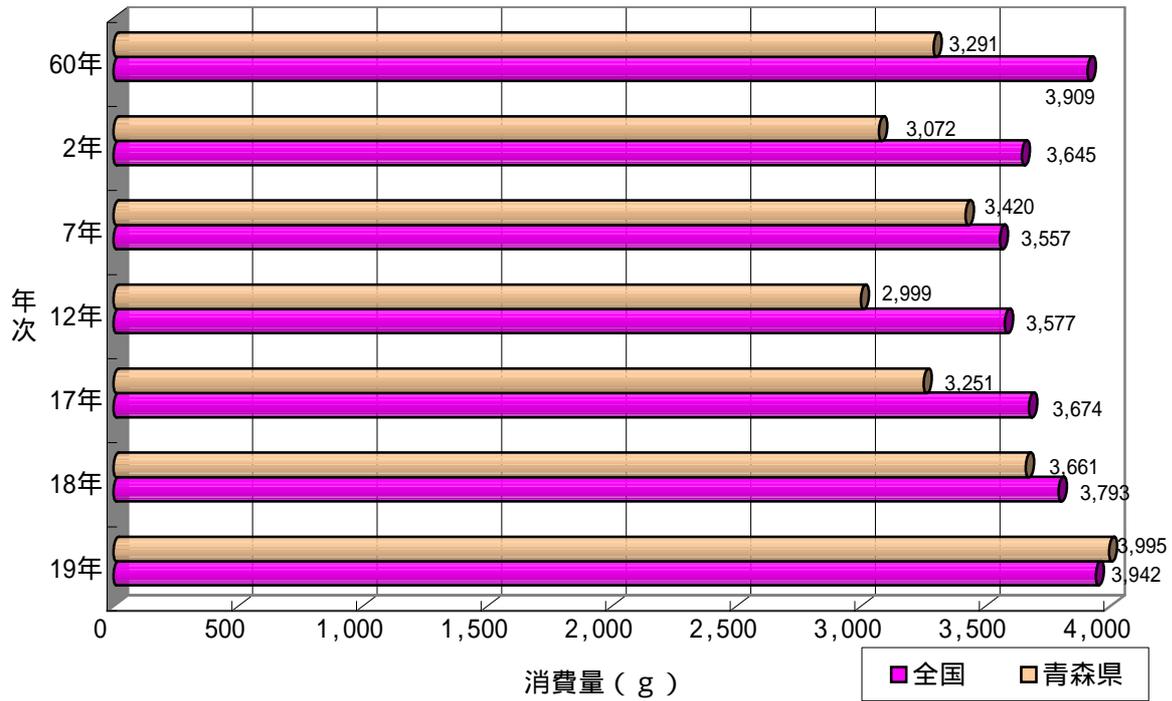
資料：畜産物流通統計

## (2) プロイラーの流通（18年次、単位：千羽）



資料：畜産物流通統計

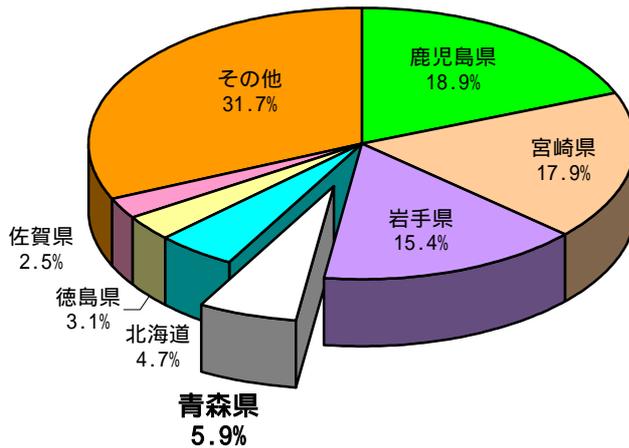
(3) 鶏肉の消費量の推移 (年間一人当たり)



資料：家計調査年報

(4) プロイラーの都道府県別出荷羽数の構成割合 (18年次、単位：千羽)

青森県は、プロイラーの出荷羽数が全国4位で、全体の5.9%を占めている。



	出荷羽数
合計	621,820
鹿児島県	117,423
宮崎県	111,000
岩手県	95,475
<b>青森県</b>	<b>36,978</b>
北海道	29,161
徳島県	19,105
佐賀県	15,425
その他	197,253

資料：畜産物流通統計

# 第5章 畜産物の生産費と収益性

## 1) 生 乳

### (1) 生乳生産費の推移

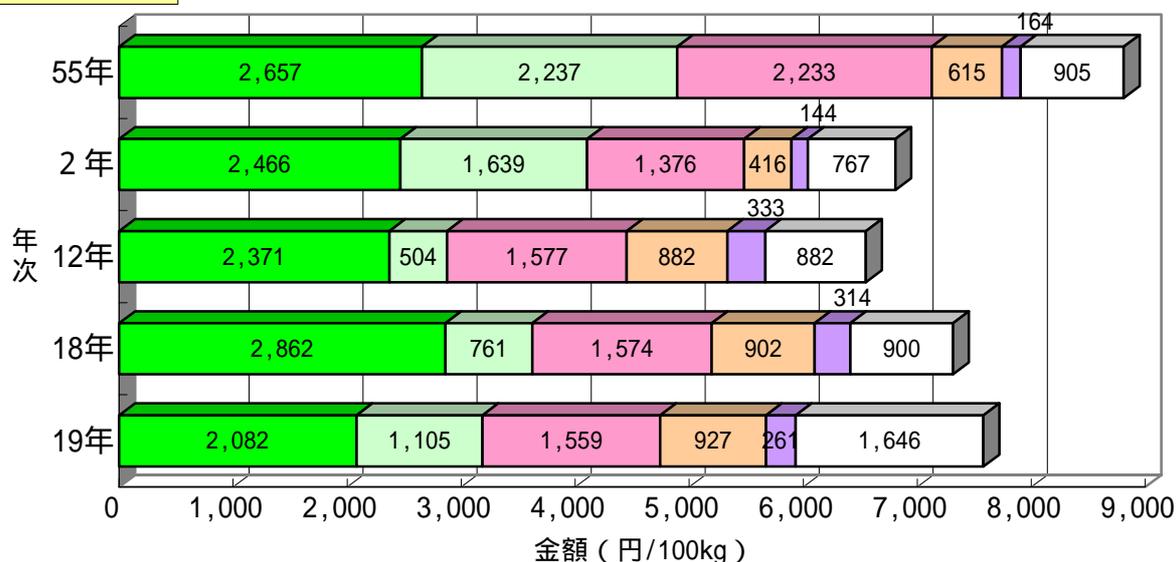
平成19年の生乳100kg当たりの費用合計は7,580円（対前年比3.7%増）となり、その内訳は流通飼料費（27%）と労働費（21%）の占める割合が高い。

（単位：円/100kg）

年次		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
生産費	全算入生産費	8,101	7,631	5,677	6,421	6,747	7,067	7,290	7,591
	費用合計	8,811	8,044	6,808	6,697	6,549	7,001	7,313	7,580

資料：農畜産物生産費統計

#### 費用合計の内訳



■流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 ■労働費 ■乳牛償却費 ■獣医師料及び医薬品費 □その他

#### 全算入生産費とは

生産費 = 費用合計 - 副産物価格

全算入生産費 = 生産費 + 支払利子 + 支払地代 + 自己資本利子 + 自作地地代

### (2) 生乳生産における収益性の推移

平成19年の搾乳牛1頭当たりの所得は83,740円（対前年比42.6%減）となった。

（単位：円）

年次		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
収益性	所得（搾乳牛1頭）	196,813	198,860	291,629	259,396	204,675	162,402	145,955	83,740
	家族労働報酬（1日）	6,506	8,864	17,379	14,893	13,473	11,531	10,656	5,093

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

## 2) 肉用牛

### (1) 子牛生産費の推移

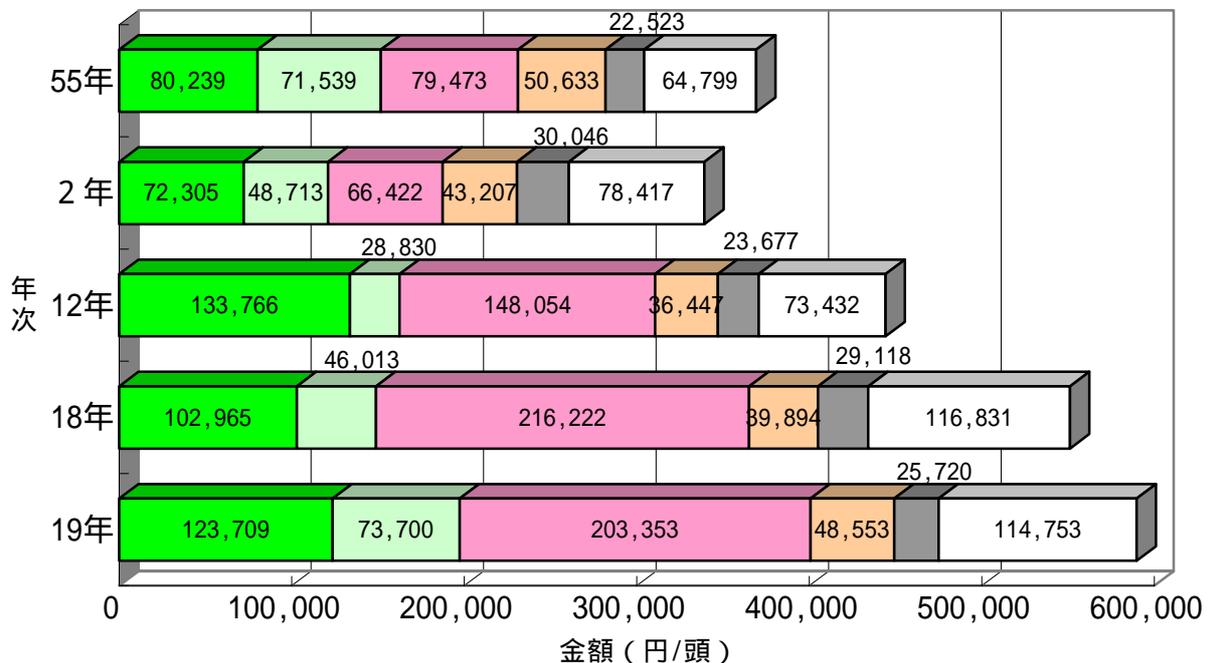
平成19年の子牛1頭当たりの費用合計は589,788円（対前年比7.0%増）となり、その内訳は労働費（34%）と流通飼料費（21%）の占める割合が高い。

（単位：円/頭）

年次		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
生産費	全算入生産費	410,203	397,362	381,656	350,671	468,405	528,886	666,565	731,914
	費用合計	369,206	367,095	339,110	328,614	444,206	472,200	551,043	589,788

資料：農畜産物生産費統計

#### 費用合計の内訳



■流通飼料費 □牧草・放牧・採草費 ■労働費 ■繁殖めす牛償却費 ■賃借料及び料金 □その他

### (2) 子牛生産における収益性の推移

平成19年の子牛1頭当たりの所得は79,062円（対前年40.5%減）となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
収益性	所得（子牛1頭）	42,251	78,645	218,787	8,545	54,141	165,229	132,956	79,062
	家族労働報酬（1日）	21,114	15,064	15,894	3,586	637	4,595	1,526	2,151

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

### (3) 肥育牛（去勢若齢）生産費の推移

平成19年の肥育牛1頭当たりの費用合計は859,809円（対前年比5.5%増）となり、その内訳はもと畜費（58%）と流通飼料費（25%）の占める割合が高い。

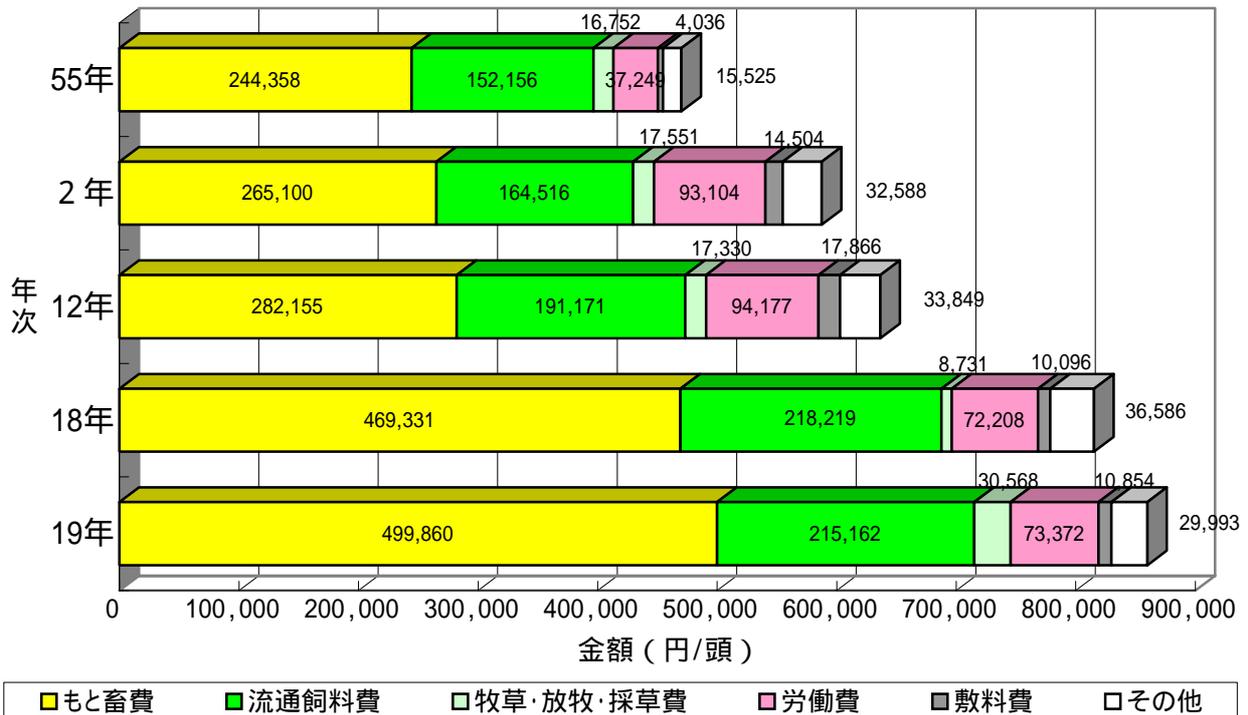
（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
生産費	全算入生産費	476,799	406,732	565,619	458,050	623,381	791,177	819,921	883,759
	費用合計	470,076	416,459	587,363	455,719	636,548	785,781	815,171	859,809

平成10年から労働費の算出方法が変更されている。

資料：農畜産物生産費統計

#### 費用合計の内訳



### (4) 肥育牛（去勢若齢）生産における収益性の推移

平成19年の肥育牛1頭当たりの所得は200,851円（対前年比4.5%増）となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
収益性	所得（1頭）	66,515	83,536	101,135	95,105	8,857	98,558	192,233	200,851
	家族労働報酬（1日）	7,089	12,542	7,016	13,760	2,594	9,647	25,544	26,393

資料：農畜産物生産費統計

### 3) 豚

#### (1) 肥育豚生産費の推移

平成19年の肥育豚1頭当たりの費用合計は27,441円（対前年12.6%増）となり、その内訳は流通飼料費（62%）と労働費（13%）の占める割合が高い。

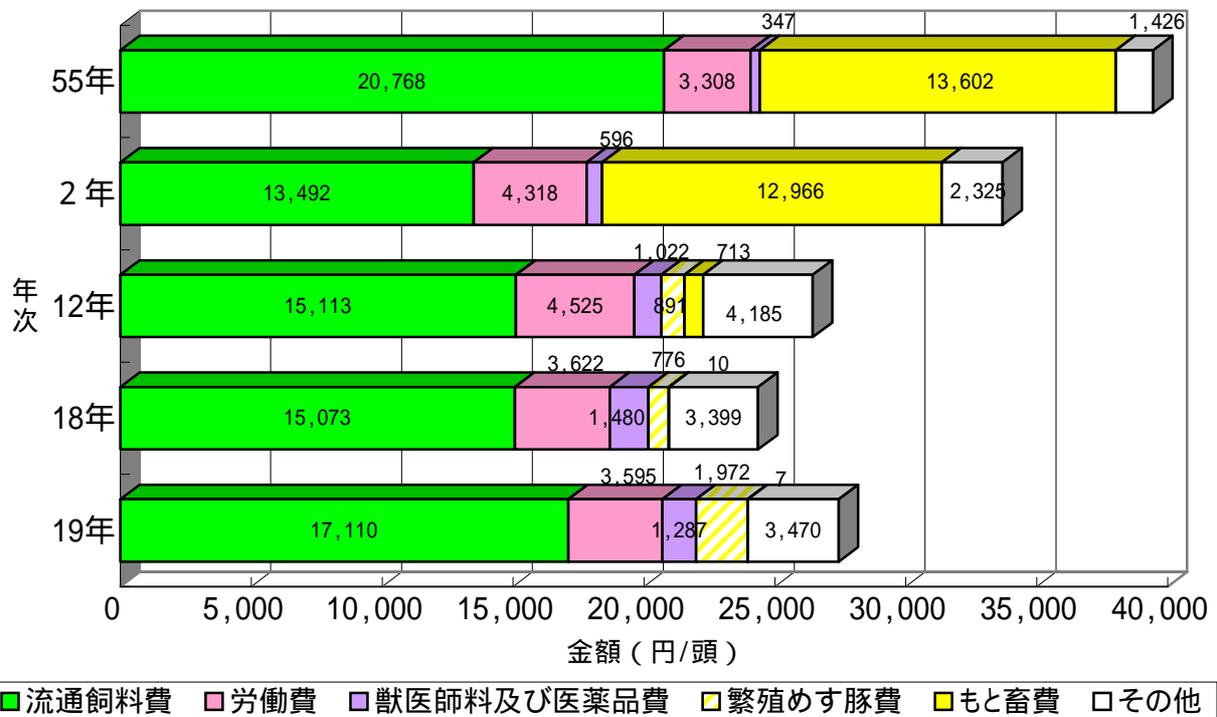
（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
生産費	全算入生産費	39,526	46,560	32,612	25,050	27,324	25,627	24,751	27,523
	費用合計	39,451	47,355	33,697	24,923	26,449	25,059	24,360	27,441

資料：農畜産物生産費統計

平成5年から、調査対象農家を、肥育経営農家から一貫経営農家へ変更している。

#### 費用合計の内訳



#### (2) 肥育豚生産における収益性の推移

平成19年の肥育豚1頭当たりの所得は、4,583円（対前年比42.3%減）となった。

（単位：円）

		55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
収益性	所得 （1頭あた）	496	1,705	317	7,000	5,314	7,420	7,945	4,583
	家族労働報酬 （1日）	-	1,882	1,606	17,600	9,442	25,548	26,016	15,182

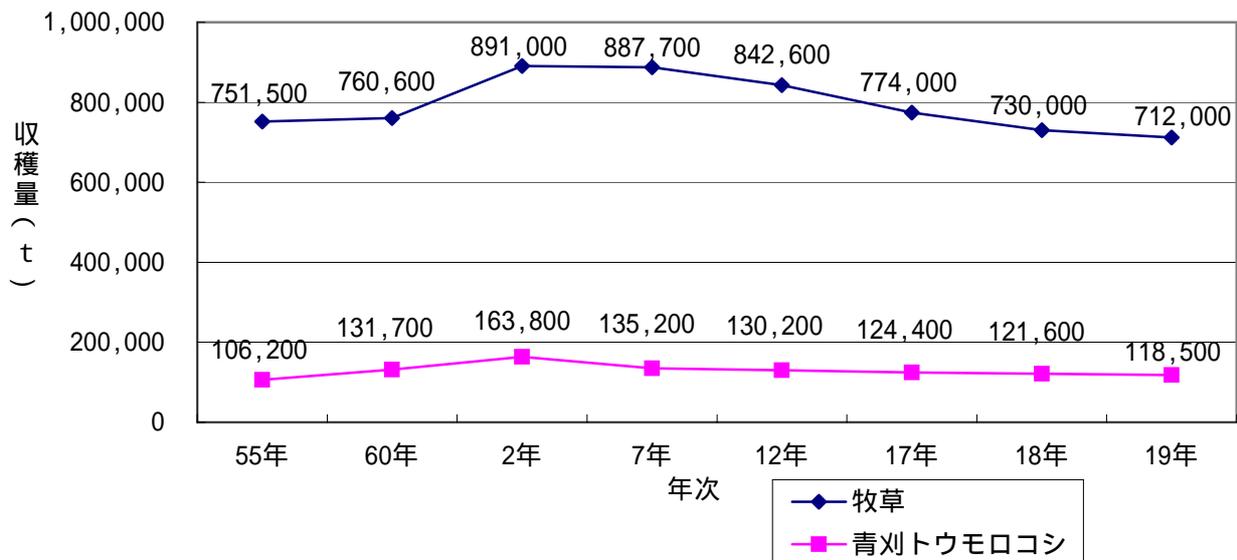
資料：農畜産物生産費統計

# 第6章 草地と飼料

## 1) 自給飼料の状況

### (1) 飼料作物の収穫量

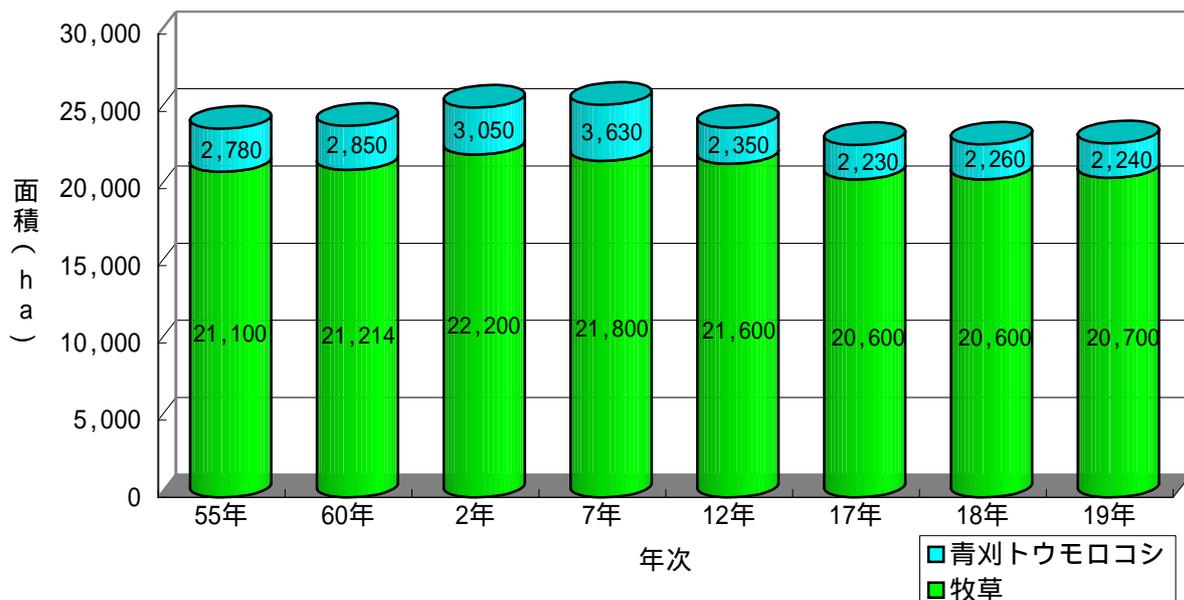
平成19年の飼料作物の収穫量は、消雪後の低温・少照傾向が続いたことから、生育が遅れ気味で推移し、牧草は対前年比2.5%減の712千t、青刈トウモロコシは対前年比2.5%減の119千tとなった。



資料：飼料作物調査

### (2) 飼料作物の作付面積

平成19年の作付面積は、牧草は対前年比0.5%増の20,700ha、青刈トウモロコシは対前年比0.9%減の2,240haとなった。



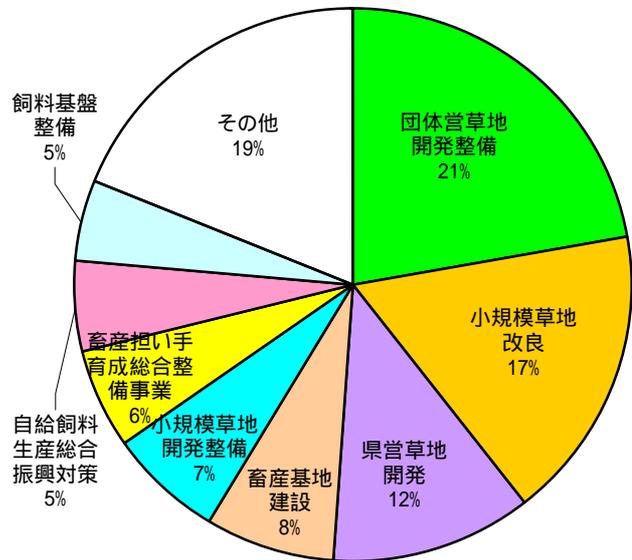
資料：飼料作物調査

## 2) 草地開発面積

### (1) 草地造成・整備面積（昭和36年～平成19年）

事業名	造成・整備面積
団体営草地開発整備事業	4,187.28
小規模草地改良事業	3,210.90
県営草地開発事業	2,177.35
畜産基地建設事業	1,410.20
小規模草地開発整備事業	1,245.61
畜産担い手育成総合整備事業	1,082.74
自給飼料生産総合振興対策事業	977.00
飼料基盤整備事業	922.50
地域畜産総合対策事業	655.41
緊急飼料生産向上特別対策事業	474.40
共同利用模範牧場設置事業	442.80
農業公社牧場設置事業	431.41
集約牧野造成事業	368.00
林野活用畜産環境総合整備モデル事業	282.35
自給飼料生産向上特別対策事業	275.60
改良牧野造成改良事業	188.00
公共育成牧場整備事業	179.32
県営公共牧場整備事業	130.76
公共牧場機能強化事業	90.74
強い農業づくり交付金飼料基盤活用の促進	5.00
畜産環境総合整備統合補助事業	1.00
合計	18,738.37

資料：県畜産課調査



### (2) 公共牧場の設置と利用状況（平成19年7月1日現在）

(単位：ha、頭)

	牧場数	面積		放牧頭数			
		うち牧草地	計	乳用牛	肉用牛	馬・羊等	
県計	100	13,748	7,258	7,961	1,044	6,814	103
東青	14	1,412	728	458		444	14
中南	3	64	56	66		66	
三八	14	2,526	1,114	1,391	84	1,277	30
西北	13	1,036	691	720		720	
上北	29	5,505	3,226	4,093	880	3,155	58
下北	27	3,205	1,443	1,233	80	1,152	1

資料：県畜産課調査

### (3) 水田転作による飼料作物の作付動向（耕畜連携対策分）

(単位：ha)

項目 \ 年度	55年	60年	2年	7年	12年	17年	18年	19年
転作全面積	17,672	14,851	20,797	13,949	22,907	21,032	20,344	20,815
飼料作物面積	7,953	5,591	5,928	5,387	6,219	5,155	5,185	4,728
比率 ( / )	45.0%	37.6%	28.5%	38.6%	27.1%	24.5%	25.5%	22.7%

資料：県農産園芸課調査

### 3) 配合飼料の状況

#### (1) 配合飼料の用途別入荷数量

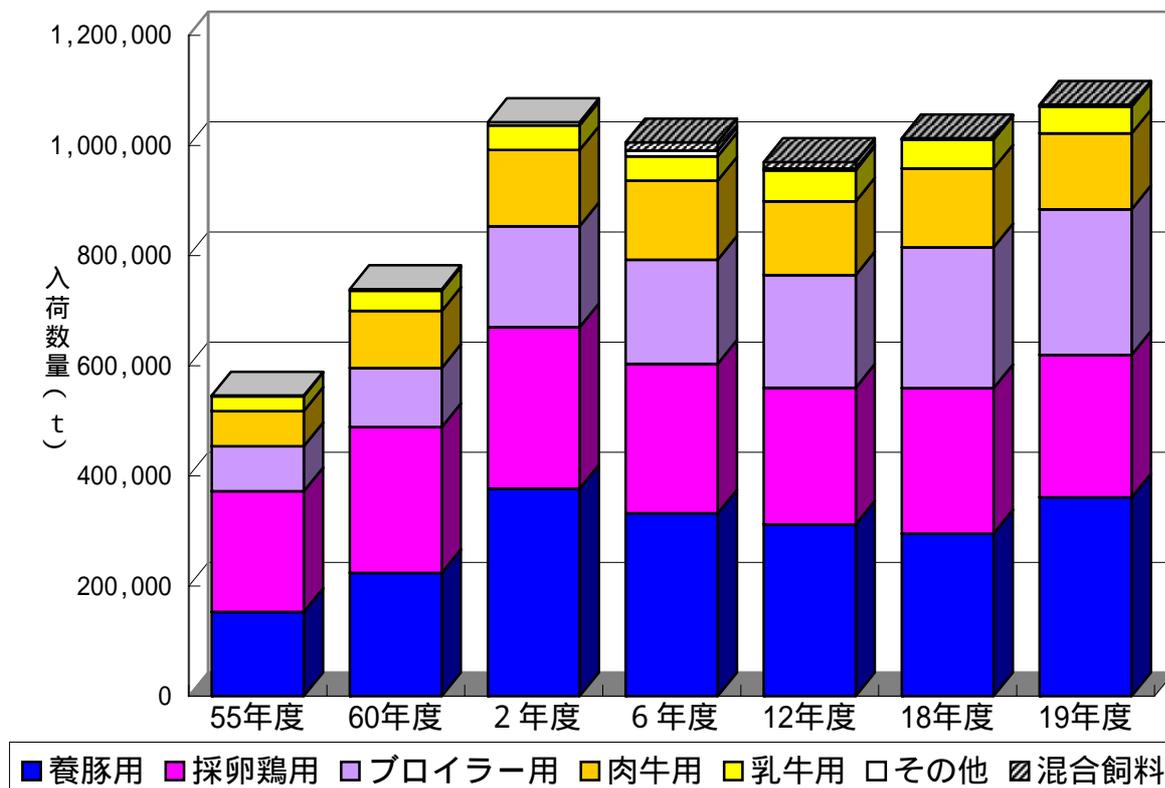
平成19年度の県内の配合飼料入荷数量は107万tで、対前年比1.1%増となった。

(単位：t)

		55年度	60年度	2年度	6年度	12年度	18年度	19年度
養鶏用	育すう	32,682	36,937	39,968	38,346	34,550	35,518	36,113
	成鶏	186,744	228,050	253,177	233,150	213,943	228,466	222,632
	ブロイラー	81,558	107,481	183,397	188,993	204,191	255,589	264,359
養豚用	子豚	95,783	146,692	233,344	199,422	162,640	105,332	163,045
	肉豚	33,521	34,176	85,149	79,536	99,296	143,674	147,252
	種豚	23,657	42,909	58,587	53,331	49,834	46,412	50,915
牛用	乳牛用	26,710	36,199	44,646	44,352	56,629	52,417	48,646
	肉牛用	64,051	103,598	138,039	143,301	133,954	143,375	137,842
その他の家畜家きん用		1,154	3,346	6,215	10,433	3,335	1,100	1,331
配合・混合飼料合計		545,860	739,388	1,042,522	1,005,847	970,119	1,061,853	1,073,945
うち配合飼料		512,877	718,852	1,016,583	990,864	958,372	1,060,038	1,072,135
養魚用		535	416	349	358	522	145	187
その他用		70	824	157	16	190	0	12

55～2年度の配合飼料の数量は、家畜家きん用の数量と重複している。

資料：飼料月報



# 第7章 家畜衛生

## 1) 家畜防疫事業の推移

家畜伝染病、届出伝染病を中心とした家畜疾病の検査等を計画どおり実施した。

(単位：頭、羽、群)

事業区分		60年度	2年度	6年度	12年度	18年度	19年度	
検査事業	牛	ブルセラ病	16,155	11,473	11,625	3,819	3,393	6,055
		結核病	16,155	11,473	11,674	3,910	3,753	6,171
		ヨ－ネ病	3,326	630	1,656	7,150	6,428	7,642
		アカバネ病	1,732	1,552	1,529	1,026	377	494
		牛白血病	1,244	1,036	1,034	617	410	400
		牛伝染性疾病	80,754	81,386	90,303	87,534	71,173	64,693
	馬	馬伝染性貧血	3,326	2,980	2,992	1,585	1,074	1,017
		馬伝染性子宮炎	2,540	641	652	496	292	274
		馬パラチフス	1,293	1,203	1,035	602	384	332
		馬鼻肺炎	410	413	447	300	230	247
	豚	豚オーエスキー病	1,098	6,143	4,359	4,612	4,995	5,799
		豚コレラ						620
		豚伝染性疾病	160,403	213,455	264,869	192,128	183,417	184,797
	鶏	ニューカッスル病 (一般)	5,600	6,190	6,340	5,110	4,909	4,719
		ニューカッスル病 (種鶏)	2,235	3,075	3,006	2,500	2,810	2,825
		家きんサルモネラ感染症 (種鶏)	7,590	8,050	8,000	6,500	5,109	5,136
		マイコプラズマ病 (種鶏)	8,440	8,050	8,200	6,500	6,811	5,136
		鶏伝染性疾病	680,094	334,220	370,730	288,997	342,916	294,145
	蜂	ふそ病	12,849	12,955	10,444	10,293	9,949	9,436
	自衛防疫注射事業	牛	牛伝染性鼻気管炎 (混合ワクチンを含む)	7,108	7,523	5,694	7,349	8,627
アカバネ病			104	13,816	9,569	9,323	8,688	8,568
気腫疽			437	7,012	16,820	12,956	11,950	9,560
牛クロストリジウム (混合)								152
炭疽			0	20	0	8	0	20
馬		馬インフルエンザ (混合ワクチンを含む)	1,546	1,320	1,492	234	667	667
		馬鼻肺炎	539	830	442	285	337	302
豚		豚丹毒	478,955	669,474	11,790	508,262	451,965	243,743
		豚パルボウイルス	1,081	153	1,699	23	110	110
		豚流行性脳炎・ 豚パルボウイルス混合	0	0	1,659	1,101	675	520
		豚流行性脳炎	619	15,946	11,208	2,987	2,735	2,327
鶏		ニューカッスル病	250,480	83,550	64,790	52,290	126,350	144,200
		ニューカッスル病 伝染性気管支炎混合	66,000	29,000	13,000	36,000	45,000	60,685

資料：県畜産課調査

## 2) 監視伝染病発生状況（青森県）

平成19年の家畜伝染病は、ヨーネ病13頭の摘発があった。

（単位：頭、羽、群）

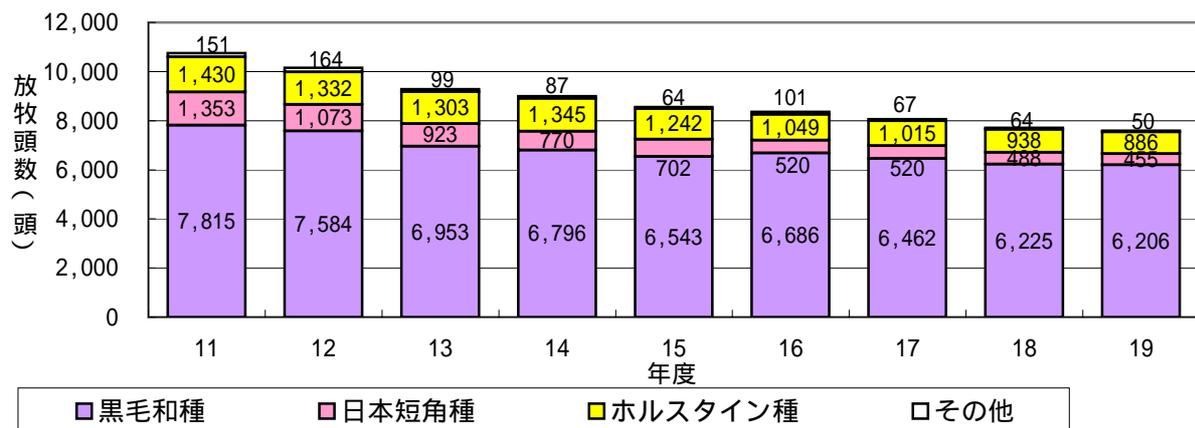
区 分		年次									
		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
家畜伝染病 (法第2条)	ヨーネ病	7	16	15	32	26	31	16	22	14	13
	結核病								1		
	伝達性海綿状脳症(牛:疑似)						29				
	腐蛆病		4								
	ニューカッスル病					128					
届出伝染病 (法第4条)	牛ウイルス性下痢・粘膜病			1						1	
	牛伝染性鼻気管炎	25		9	8					11	5
	牛カンピロバクター症							2			
	牛白血病	6	3	9	10	12	14	11	5	16	19
	サルモネラ症・牛		4	1			2	1			11
	サルモネラ症・豚							11	14	4	
	ネオスポラ症			1	1						
	破傷風(牛)				1					1	
	破傷風(馬)		1	1							
	馬パラチフス						1				
	馬鼻肺炎							1		6	
	萎縮性鼻炎	743									
	豚丹毒	31	156	177	94	67	102	52	73	22	41
	豚赤痢								1	2	
	鶏白血病	20						1		1	
レプトスピラ症・犬		1	3	1(疑症)	2		4				

資料：県畜産課調査

## 3) 放牧衛生状況

### (1) 放牧牛の頭数

放牧頭数は減少傾向にあり、平成19年度は7,597頭で、対前年比1.5%減となった。



資料：県畜産課調査

### (2) 放牧牛の死亡事故率

平成19年度の死亡事故率は、0.24%と前年より低い水準となった。

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19
死亡事故率(%)	0.39	0.48	0.43	0.34	0.27	0.22	0.23	0.28	0.24

資料：県畜産課調査

# 第8章 環境保全

## 環境汚染発生状況

### (1) 環境汚染の種類別発生件数

平成19年度の畜産環境汚染の発生は、17件と前年に比べ7件増加した。  
原因別では「水質・悪臭」が最も多く、発生件数全体の29%を占める。

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	16年度	17年度	18年度	19年度
悪臭発生	43	52	14	10	7	5	4
水質汚濁	25	19	1	5	4	2	3
水質・悪臭	11	8	2	3	0	1	5
悪臭・害虫	16	6	2	1	2	1	3
害虫発生	21	19	0	0	0	1	1
道路飛散	5	7	0	0	0	0	1
計	121	111	19	19	13	10	17

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

資料：県畜産課調査

### (2) 畜種別発生件数

畜種別合計

(単位：件)

	2年度	6年度	12年度	16年度	17年度	18年度	19年度
豚	65	50	9	11	7	3	11
乳用牛	30	25	0	0	1	0	0
肉用牛	4	5	1	2	1	4	3
採卵鶏	21	23	9	6	2	2	3
ブロイラー	1	1	0	0	2	0	0
その他(馬)	0	7	0	0	0	1	0
計	121	111	19	19	13	10	17

調査期間は各年度の7月1日～翌年6月30日

飼養規模別件数(畜種別合計の平成19年度内訳)

		悪臭発生	水質汚濁	害虫	水質・悪臭	悪臭・害虫	道路飛散
豚	1～49頭						
	50～499頭				1		
	500～999頭		1				
	1,000頭以上	2	2		3	1	1
牛	1～19頭					2	
	20～29頭						
	30～49頭						
	50～99頭						
	100頭以上				1		
採卵鶏	1～4,999羽						
	5,000～9,999羽	1					
	10,000羽以上	1		1			
ブロイラー	1～9,999羽						
	10,000～29,999羽						
	30,000～49,999羽						
	50,000～99,999羽						
	100,000羽以上						
その他							
計		4	3	1	5	3	1

資料：県畜産課調査

# 第9章 参考資料

## 1) 青森県酪農・肉用牛生産近代化計画の目標

### (1) 生乳の生産数量及び乳牛の飼養頭数の目標

	現在（平成15年度）					目標（平成27年度）					
	総頭数 （頭）	成牛 頭数 （頭）	経産牛 頭数 （頭）	経産牛1頭当 たり年間搾乳 量（kg）	生乳 生産量 （t）	総頭数 （頭）	成牛 頭数 （頭）	経産牛 頭数 （頭）	経産牛1頭当 たり年間搾乳 量（kg）	生乳 生産量 （t）	
県計	17,300	12,200	11,200	7,303	83,614	17,000	12,000	11,000	8,200	90,200	
農業地域	東青	500	340	310	7,843	2,564	450	320	280	9,171	2,568
	中南	240	180	134	7,617	1,162	250	200	160	8,549	1,368
	三戸	2,060	1,610	1,386	6,900	9,539	2,220	1,660	1,440	7,910	11,390
	上北	11,820	8,170	7,696	7,348	58,110	11,460	7,990	7,500	8,248	61,862
	下北	2,360	1,690	1,497	7,597	11,321	2,250	1,560	1,380	8,527	11,767
	西北	320	210	177	4,835	918	370	270	240	5,190	1,246

（注）成牛とは、24ヵ月齢以上のものをいう。

### (2) 肉用牛の飼養頭数の目標

（単位：頭）

	肉用牛 総頭数	肉専用種				乳用種等				
		合計	繁殖雌牛 (育成牛含む)	肥育牛	その他	合計	乳用種	交雑種		
現在 （平成15年度）	県計	56,700	26,100	10,300	12,600	3,200	30,600	20,800	9,800	
	農業地域	東青	1,820	1,511	695	654	161	309	260	49
		中南	1,080	409	146	211	52	671	0	671
		三戸	12,700	6,438	2,441	3,208	789	6,262	4,561	1,701
		上北	32,050	12,998	4,633	6,649	1,716	19,052	11,789	7,263
		下北	3,160	2,923	1,622	1,044	257	236	227	9
		西北	2,129	1,820	782	833	205	309	260	49
目標 （平成27年度）	県計	63,000	32,700	13,800	12,800	6,100	30,300	20,477	9,823	
	農業地域	東青	1,872	1,611	774	567	270	261	220	42
		中南	1,263	542	199	233	111	721	0	721
		三戸	14,197	8,052	3,283	3,230	1,539	6,145	4,476	1,669
		上北	36,322	17,253	6,780	7,093	3,380	19,069	11,787	7,281
		下北	3,202	3,013	1,750	855	408	189	182	8
		西北	6,144	2,229	1,014	822	392	3,915	3,812	103

## 2) 畜産行政組織の概要

### 農 林 水 産 部

#### 畜 産 課

	電話番号	FAX	郵便番号	住所
企画管理グループ	017-734-9495	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
経営支援グループ	017-734-9496	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
衛生・安全グループ	017-734-9498	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1
飼料環境グループ	017-734-9497	734-8144	030-8570	青森市長島一丁目1-1

酪農振興センター (青い森農林振興公社へ業務委託)	0175-75-3059	75-2074	039-3214	六ヶ所村平沼田面木272
------------------------------	--------------	---------	----------	--------------

#### 農 林 水 産 政 策 課

青森県農林総合研究センター 畜産試験場	0175-64-2231	64-2230	039-3156	野辺地町枇杷野51
------------------------	--------------	---------	----------	-----------

和牛改良技術センター	0173-26-3153	26-3205	038-2816	つがる市森田町森田月見野558
------------	--------------	---------	----------	-----------------

和牛改良資源センター	0179-32-4649	32-4677	039-0201	田子町田子蟹沢9
------------	--------------	---------	----------	----------

#### 東 青 地 域 県 民 局

地域農林水産部 農業振興課 普及指導室	017-734-9961	734-8305	030-0822	青森市新町二丁目4-30
	017-734-9965・6	734-8305	030-0822	青森市新町二丁目4-30

青森家畜保健衛生所	017-742-3791	742-3792	030-0911	青森市造道三丁目25-2
-----------	--------------	----------	----------	--------------

#### 中 南 地 域 県 民 局

地域農林水産部 農業振興課 普及指導室	0172-33-2902	32-8544	036-8345	弘前市蔵主町4
黒石普及分室	0172-34-2136	34-4390	036-8345	弘前市蔵主町4
	0172-52-4335	53-4114	036-0524	黒石市緑ヶ丘95

#### 三 八 地 域 県 民 局

地域農林水産部 畜産課 普及指導室	0178-27-4024	27-3323	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
三戸普及分室	0178-27-4444	23-2801	039-1101	八戸市尻内町鴨田7
	0179-23-3264・6	23-3274	039-0141	三戸町川守田関根川原85-2

八戸家畜保健衛生所	0178-27-7415・7	27-7418	039-1101	八戸市尻内町毛合清水7-2
-----------	----------------	---------	----------	---------------

#### 西 北 地 域 県 民 局

地域農林水産部 畜産課 普及指導室	0173-72-6613	72-6618	038-2753	鯉ヶ沢町本町209
つがる普及分室	0173-35-2345	33-1345	037-0046	五所川原市栄町10
	0173-42-2222	42-2272	038-3146	つがる市木造桜木9-1

つがる家畜保健衛生所 弘前駐在	0173-42-2276	42-6087	038-3151	つがる市木造若竹2
--------------------	--------------	---------	----------	-----------

	0172-33-2902	32-8544	036-8345	弘前市蔵主町4
--	--------------	---------	----------	---------

#### 上 北 地 域 県 民 局

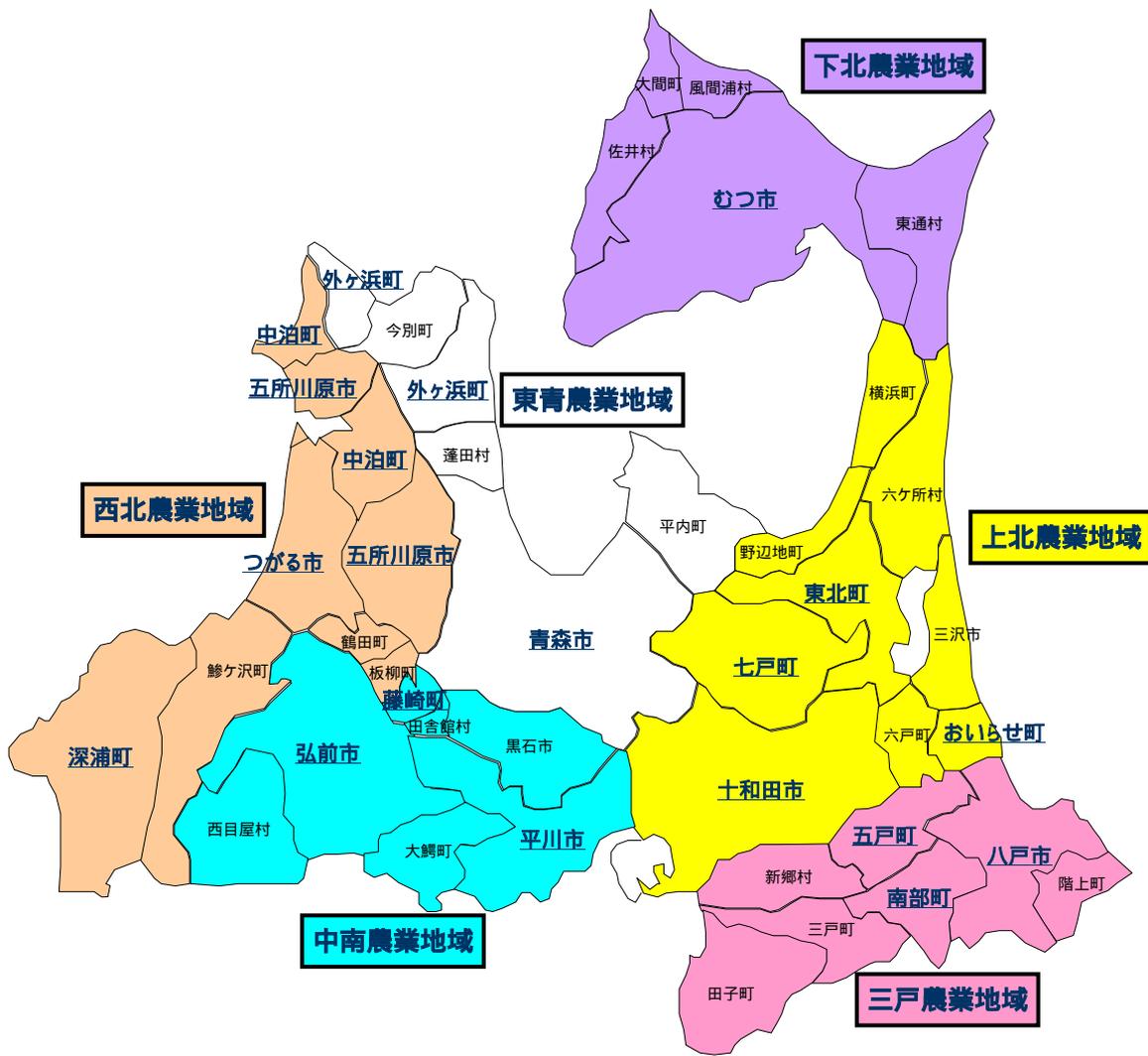
地域農林水産部 畜産課 普及指導室	0176-23-5388	22-9161	034-0093	十和田市西十二番町20-12
三沢普及分室	0176-23-4281	25-7242	034-0093	十和田市西十二番町20-12
	0176-53-2498	53-8539	033-0024	三沢市東岡三沢1-1-7

十和田家畜保健衛生所	0176-23-6235	23-3044	034-0093	十和田市西十二番町19-23
------------	--------------	---------	----------	----------------

#### 下 北 地 域 県 民 局

地域農林水産部 畜産課 普及指導室	0175-22-3211	22-3212	035-0073	むつ市中央一丁目1-8
	0175-22-2685	23-5887	035-0073	むつ市中央一丁目1-8

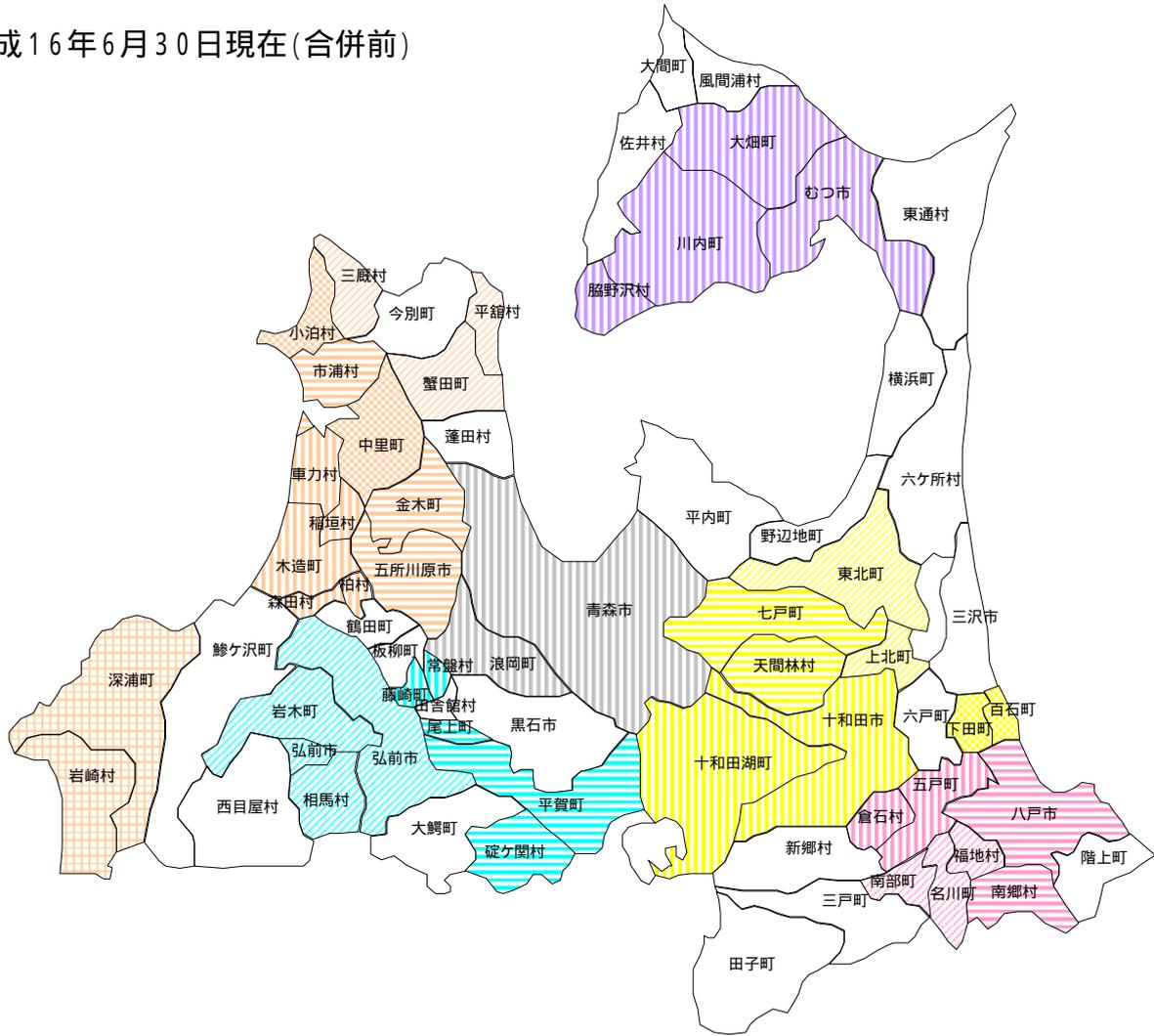
むつ家畜保健衛生所	0175-22-1254	22-1259	035-0072	むつ市金谷二丁目18-25
-----------	--------------	---------	----------	---------------



- 県庁
- 地域県民局地域農林水産部 畜産主務課
- 家畜保健衛生所
- 普及指導室
- 普及指導分室
- 畜産試験場
- 和牛改良技術センター
- 和牛改良資源センター
- 酪農振興センター

### 3) 市町村合併の状況

平成16年6月30日現在(合併前)



	名称	合併日	関係市町村	関係市町村数	人口 (H17国調要計表)
1	五戸町	H16. 7. 1	五戸町、倉石村	2	20,138
2	十和田市	H17. 1. 1	十和田市、十和田湖町	2	68,367
3	つがる市	H17. 2. 11	木造町、森田村、柏村、稲垣村、車力村	5	40,093
4	むつ市	H17. 3. 14	むつ市、川内町、大畑町、脇野沢村	4	64,054
5	五所川原市	H17. 3. 28	五所川原市、金木町、市浦村	3	62,182
6	外ヶ浜町	H17. 3. 28	蟹田町、平館村、三厩村	3	8,215
7	藤崎町	H17. 3. 28	藤崎町、常盤村	2	16,495
8	中泊町	H17. 3. 28	中里町、小泊村	2	14,182
9	八戸市	H17. 3. 31	八戸市、南郷村	2	244,678
10	深浦町	H17. 3. 31	深浦町、岩崎村	2	10,910
11	七戸町	H17. 3. 31	七戸町、天間林村	2	18,463
12	東北町	H17. 3. 31	上北町、東北町	2	20,017
13	青森市	H17. 4. 1	青森市、浪岡町	2	311,492
14	平川市	H18. 1. 1	平賀町、尾上町、碓ヶ関村	3	35,338
15	南部町	H18. 1. 1	名川町、南部町、福地村	3	21,553
16	弘前市	H18. 2. 27	弘前市、岩木町、相馬村	3	189,050
17	おいらせ町	H18. 3. 1	百石町、下田町	2	24,178

## 4) 畜産関係機関・団体

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	FAX
協 会	( 社 ) 青 森 県 畜 産 協 会	030-0822	青森市中央2-1-15	017-723-2775	731-1196
	( 社 ) 青 森 県 獣 医 師 会	030-0813	青森市松原2-8-2 獣医師会館内	017-722-5989	722-6010
	" " 食 鳥 検 査 セ ン タ ー	039-1166	八戸市根城六丁目22-22	0178-24-3762	24-3772
	青 森 県 養 鶏 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8799	729-8799
	( 社 ) 青 森 県 養 豚 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-4141	729-8609
	青 森 県 酪 農 協 会	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1 JAらくのう青森内	0175-64-3241	64-3244
	青 森 県 飲 用 牛 乳 協 会	036-8071	弘前市大久保西田364 萩原乳業株式会社内	0172-32-1451	32-8726
	青森県家畜人工授精師協会	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	( 社 ) 青 森 県 配 合 飼 料 協 会	030-0813	青森市松原3-9-22 いしごおかハイツ2階	017-777-6543	775-5354
	( 社 ) 青 森 県 畜 産 物 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8692	729-8609
農 協 等	青 森 県 牛 乳 普 及 協 会	030-0847	青森市東大野2-1-15 全農青森県本部酪農課内	017-729-8650	762-1078
	( 社 ) 日 本 短 角 種 登 録 協 会 青 森 県 支 部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	( 社 ) 全 国 和 牛 登 録 協 会 青 森 県 支 部	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	( 社 ) 日 本 軽 種 馬 協 会 東 北 支 部	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池96-3	0178-27-0458	23-4341
	全 国 農 業 協 同 組 合 連 合 会 青 森 県 本 部	030-0847	青森市東大野2-1-15 青森県農協会館内	017-729-8650	762-1078
	畜 産 酪 農 部 酪 農 課 ・ 牛 乳 冷 却 処 理 所	039-2664	上北郡東北町乙供63-239	0175-63-3551	65-5006
	青森県畜産農業協同組合連合会	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	ら く の う 青 森 農 業 協 同 組 合	039-3104	上北郡野辺地町大月平33-1	0175-64-3241	64-3244
	青森県農業共済組合連合会	030-0802	青森市本町5-5-21	017-775-1161	775-1170
	青森県鶏卵販売農業協同組合	030-0943	青森市幸畑谷脇219-2	017-738-1241	738-7383
そ の 他	青森県軽種馬生産農業協同組合	039-1101	八戸市尻内町鴨ヶ池96-3	0178-27-0458	23-4341
	( 社 ) 青 い 森 農 林 振 興 公 社	030-0801	青森市新町2-4-1 県共同ビル6階	017-773-3131	734-1738
	青森県食肉事業協同組合連合会	030-0113	青森市第二問屋町3-5-25 株式会社いしおか内	017-729-8078	050-1197-8559
	青森県家畜商業協同組合	034-0001	十和田市三本木野崎40-433 三本木畜産農業協同組合内	0176-23-3581	23-5040
	青 森 県 養 蜂 協 会	039-1504	三戸郡五戸町兔内40 平利一郎方	0178-62-2754	62-6090
	( 財 ) 青 森 県 学 校 給 食 会	030-0312	青森市横内神田7-2	017-738-1010	738-1051
	青 森 県 農 業 会 議	030-0802	青森市本町2-6-19 青森県土地改良会館4階	017-774-8580	774-8588

## 5) 畜産関係施設

	名 称	郵便番号	住 所	電話番号	F A X
家畜市場	青森県家畜市場(青森県畜産農業協同組合連合会)	039-2567	上北郡七戸町鶴児平72-1	0176-60-1070	60-1073
	八戸産地家畜市場(八戸畜産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町埵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
	三本木産地家畜市場(三本木畜産農業協同組合)	034-0001	十和田市三本木野崎40-433	0176-23-3581	23-5040
	おいらせ農協産地家畜市場(おいらせ農業協同組合)	039-2372	上北郡六戸町折茂上折茂94-1	0176-55-2029	55-3392
	八戸サラブレッド家畜市場(県軽種馬生産農業協同組合)	039-0814	三戸郡南部町埵渡鮫ノ口8-13	0178-84-4448	84-4449
食肉センター	津軽食肉センター(処理能力:大20・小520頭/日)	038-1141	南津軽郡田舎館村川部富岡84-1	0172-58-4652	58-4664
	三沢市食肉処理センター(処理能力:小1,300頭/日)	033-0113	三沢市三沢淋代平116-3101	0176-59-3567	59-2865
	(株)三戸食肉センター(処理能力:大66・小650頭/日)	039-0122	三戸郡三戸町斗内中堤9-1	0179-25-2211	25-2213
	十和田食肉センター(処理能力:大100・小1,200頭/日)	034-0001	十和田市三本木野崎1	0176-23-7321	23-7324
	日本フードパッカー(株)青森工場(処理能力:大50・小1,300頭/日)	039-2206	上北郡おいらせ町松原2-132-1	0178-52-3181	52-6855
乳業工場	萩原乳業(株)	036-8071	弘前市大久保西田364	0172-32-1451	32-8726
	(株)三上牛乳店	036-8043	弘前市東和徳町2-3	0172-32-1056	32-1216
	(有)谷量舎牛乳店	036-8335	弘前市春日町36	0172-32-1062	32-1062
	(農)小川原湖農場	039-3215	上北郡六ヶ所村倉内笹崎1031-6	0175-74-2183	71-5156
	上明戸牧場	034-0061	十和田市切田見世8-16	0176-28-3556	28-2845
	(財)新郷村ふるさと活性化公社	039-1801	三戸郡新郷村戸来雨池11-2	0178-78-2511	78-2552
	(有)斗南丘牧場	035-0021	むつ市田名部内田42-606	0175-28-2888	28-2889
	(財)十和田湖ふるさと活性化公社	034-0301	十和田市奥瀬堰道148-1	0176-72-3101	72-3106

## 6) 県内の特徴的な動き(平成20年度)

### (1) 「第1花国」の産子が全国枝肉共励会で2度目の名誉賞を獲得

全国三大枝肉共励会のうち平成20年度に東京食肉市場で開催された二大会の「全農肉牛枝肉共励会」と「全国肉用牛枝肉共励会」で、「第1花国」を父とする肥育牛が2度目の名誉賞(チャンピオン)を獲得した。

#### 名誉賞受賞牛の概要

##### (1) 平成20年度全農肉牛枝肉共励会

- ・開催時期：平成20年7月4日
- ・開催場所：東京食肉市場
- ・主催者：全国農業協同組合連合会
- ・出品頭数：300頭

肥育牛出品者	血統	子牛の生産者	等級	脂肪交雑	枝肉重量	販売単価	販売金額
栃木県 須賀正次	父 <b>第1花国</b> 母の父 菊谷	十和田市 折田正勝	A-5	BMS 12	593 <sup>kg</sup>	円/kg 11,208 (2,158)	円 6,646,344 (1,104,383)

( )は本共励会での黒毛和種去勢牛と雌牛の合計の平均値

##### (2) 平成20年度全国肉用牛枝肉共励会

- ・開催時期：平成20年10月24日
- ・開催場所：東京食肉市場
- ・主催者：東京食肉市場協会他
- ・出品頭数：430頭

肥育牛出品者	血統	子牛の生産者	等級	脂肪交雑	枝肉重量	販売単価	販売金額
五戸町 (旧倉石村) 沼沢邦夫	父 <b>第1花国</b> 母の父 安平	十和田市 小原久	A-5	BMS 12	612 <sup>kg</sup>	円/kg 13,027 (2,311)	円 7,972,524 (1,157,055)

( )は本共励会での黒毛和種去勢牛と雌牛の合計の平均値

#### = 全国三大枝肉共励会( )での第1花国産子の受賞歴 =

区分	年度	子牛生産者	肥育者	成績	販売価格
全農肉牛枝肉共励会	15	三沢市 高橋健仁	五戸町 沼沢邦夫	名誉賞 (1位/200頭)	380万円
全日本牛枝肉コンクール	17	東北町 小笠原吉助	北海道 肥育農家	名誉賞 (1位/155頭)	488万円
全国肉用牛枝肉共励会	18	三沢市 高橋健仁	茨城県 肥育農家	名誉賞 (1位/430頭)	733万円
全農肉牛枝肉共励会 (2回目の受賞)	20	十和田市 折田正勝	栃木県 肥育農家	名誉賞 (1位/300頭)	664万円
全国肉用牛枝肉共励会 (2回目の受賞)	20	十和田市 小原久	五戸町 沼沢邦夫	名誉賞 (1位/430頭)	797万円



#### 平成20年度全国肉用牛枝肉共励会名誉賞の枝肉

(肥育者:五戸町 沼沢邦夫、生産者:十和田市 小原久)

#### 全国三大枝肉共励会

「全農肉牛枝肉共励会」、「全日本牛枝肉コンクール」、「全国肉用牛枝肉共励会」の3つ。数ある枝肉共励会の中でも最大級の大会として位置づけられている。

## (2) 有機を目指した日本短角種の牛肉生産（青い森の元気牛）

青森県七戸畜産農業協同組合が日本短角種を活用して、農薬や化学肥料を使用せずに生産した飼料給与と放牧で育てた「青い森の元気牛」は、平成17年12月から出荷が始まっている。都内有名百貨店で青森初冬の生鮮特集取扱品として3年連続して販売されるなど、冬季限定商品として高い評価が得られている。



広々とした放牧地



自給のトウモロコシ

## (3) 特産地鶏「青森シャモロック」の生産拡大

青森県畜産試験場養鶏部で誕生した特産地鶏「青森シャモロック」（横斑シャモ×速羽性横斑プリマスロック）は、濃厚なダシや肉のきめ細かさにおいて評価が高く、宮内庁にも供給しているほか、生産農場の新規参入が建設業などの異業種からも相次いでおり、生産羽数が増加している。また、県内（八戸市）において専門の料理店がオープンするなど、販売ルートも拡大している。

### 「青森シャモロック」の生産状況

（単位：羽）

区分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
生産羽数	13,000	16,000	24,000	30,000	48,000	73,000
うち宮内庁御料牧場へ	3,000	3,000	1,320	2,870	1,800	2,700

### 「青森シャモロック」の農場指定状況

地域	市 町 村	農場数
東 青	外ヶ浜町	1農場
中 南	弘前市、大鰐町、黒石市	5農場
三 八	五戸町、田子町、五戸町	4農場
上 北	十和田市、六戸町	8農場
西 北	五所川原市、つがる市	2農場
計		19農場

#### 【指定農場】

「青森シャモロック」ブランド化推進協議会が指定

#### 【指定条件】

- ・飼育管理マニュアルに沿った管理
- ・家畜伝染病の防疫に配慮した鶏舎での管理
- ・生産状況の飼育日誌への記帳と保管 等



青森シャモロック

#### (4) 飼料用稲専用品種「うしゆたか」の育成

転作田等での栽培が可能な飼料用稲を利用し、飼料自給率を高める取組が注目されているが、国（独法）育成品種の中には、本県を栽培適地とする品種がないことから、県では、県農林総合研究センターが育成した「青系飼161号」について、平成19年度に実用規模で栽培実証を行った。

その結果、茎葉収量の多い、多収系統であることが明らかになったことから、発酵粗飼料用の奨励品種に決定するとともに「うしゆたか」と命名して、品種登録を申請した。

##### ア. 「うしゆたか」の品種特性

主食用の多収品種の「むつほまれ」より茎葉収量が多く、総収量が多収であることから、ホールクロップサイレージ用に向く。

区分	うしゆたか	むつほまれ
生収量	24.2トン (114)	21.2トン (100)
粗玄米重	6.0トン (94)	6.4トン (100)

農林総合研究センターにおける平成19年度湛水直播実証試験（標肥区）より収量はヘクタール当たり

耐倒伏性が高く、収穫作業効率が良い。

直播適性が高く、低コスト栽培が可能。

障害型耐冷性は、国（独法）で育成された東北地域向けの飼料専用品種は「弱」～「やや弱」であるのに対して、「うしゆたか」は「中」であり、比較的耐冷性が強い。



左側「うしゆたか」  
右側「むつほまれ」

##### イ. 品種登録等の手続状況

飼料作物奨励品種選定協議会（平成20年2月5日）

職務育成品種審査会（平成20年4月15日）

名称の決定（平成20年6月10日）

品種登録出願（平成20年6月30日）

出願の受理（平成20年8月26日）

平成21年作付用種子需要調査（平成20年1～2月）

国による現地調査（平成21年8月、予定）

品種登録（平成23年度、予定）



「うしゆたか」収穫状況



収穫した稲ロールのラッピング作業

## 7) 県基幹種雄牛

# 第1花園

(だいいちはなくに)

黒12510 (82.8) B3-,F13-,CL16-

生年月日: 平成5年5月28日

生産者: 青森県西津軽郡森田村  
青森県畜産試験場森田支場

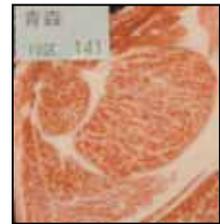
飼養地: 青森県農林総合研究センター  
畜産試験場和牛改良技術センター  
(青森県つがる市)



測定値(H17.8)

(単位: cm, kg)

体高	151
胸囲	223
胸深	84
胸幅	55
尻長	66
腰角幅	57
かん幅	52
体重	858



云わずと知れた青森県の名牛！フィールドでの枝肉成績も脂肪交雑はもちろん、枝肉重量、ロース芯面積、バラの厚さに非常に優れ、第8回岐阜全共10区優等6席、第5回全農枝肉共励会名誉賞受賞！その他の共進会等でも優れた成績を収め全国から注目を集めています。特に、枝肉重量と脂肪交雑に優れ、今や東日本の横綱クラス！系桜系の種雄牛としては「北国7の8」を凌ぐと期待されています。

### 間接検定成績(H10.1)

1日平均増体量	1.03 kg
ロース芯面積	43 cm <sup>2</sup>
バラの厚さ	6.9 cm
脂肪交雑	2.7

### 北国7の8

黒原1530(86.7)

直検DG 1.30  
間検DG 0.94  
BMS 2.70

### 第7系桜

黒原65(80.0)  
黒育29(81.0)

### 第14茂

黒8994(79.5)  
黒高280(78.4)

### きたぐに7

黒原81009(79.6)  
黒高34962(81.0)

### 晴美

黒9878(81.0)  
黒育19(80.6)

### 推定育種価(H19.11解析)

枝肉重量	77.9 kg
ロース芯面積	10.21 cm <sup>2</sup>
皮下脂肪厚	-0.25 cm
脂肪交雑	2.01

### あおはな

黒1884989(81.6)  
黒高140927

### 花桜

黒原1637(82.7)  
黒高957

### 系花

黒原809(80.7)  
黒育152(82.1)

### 第2あおひろ

黒原601491(79.6)

### 系光

黒原311(81.0)  
黒育90(82.3)

# 第2花園

(だいにはなくに)

生年月日: 平成14年8月18日

生産者: 青森県つがる市  
畜産試験場和牛改良技術センター

飼養地: 青森県農林総合研究センター  
畜産試験場和牛改良技術センター

黒13847 (82.9) B3-,F13-,CL16-,CHS-,MCSU- (青森県つがる市)



## 測定値(H19.9)

(単位: cm, kg)

体高	144
胸囲	197
胸深	76
胸幅	43
尻長	60
腰角幅	53
かん幅	51
体重	582



本牛は、「1花園」を父に、「第1花園」の全兄弟である「第5はなくに」を母に持つ、究極の近親交配により作出された純粋系桜系の種雄牛です。

現場検定の成績では、脂肪交雑Noが7.1と現場検定に移行後において歴代1位の成績を記録しており、資質の改善が期待されます。

なお、枝肉重量が「第1花園」ほど期待できないため、枝肉重量の育種価の高い繁殖雌牛との交配を心掛けて下さい。

## 調査牛成績(H20.2)

枝肉重量	394.6 kg
ロース芯面積	55.4 cm <sup>2</sup>
バラの厚さ	7.4 cm
脂肪交雑No	7.14

## 推定育種価(H19.11解析)

枝肉重量	22.4 kg
ロース芯面積	9.65 cm <sup>2</sup>
皮下脂肪厚	-0.94 cm
脂肪交雑	2.11

### 第1花園

黒 12510(82.8)

直検DG 1.36  
間検DG 1.03  
BMS 2.70

### 北国7の8

黒原1530(86.7)

### あおはな

黒 884989(81.6)  
黒高140927(81.0)

### 第7系桜

黒原65(80.0)  
黒育29(81.0)

### 花桜

黒9878(81.0)  
黒育19(80.6)

### 第5はなくに

黒2025076(82)

### 北国7の8

黒原1530(86.7)

### あおはな

黒 1884989(81.6)  
黒高140927(81.0)

### 第7系桜

黒原65(80.0)  
黒育29(81.0)

### 花桜

黒9878(81.0)  
黒育19(80.6)

# 雪 国

(ゆきぐに)

生年月日: 平成4年2月10日

生産者: 兵庫県美方郡浜坂町  
岡村 忠太郎

飼養地: 青森県農林総合研究センター  
畜産試験場和牛改良技術センター  
(青森県つがる市)

黒12304 (83.0) B3-,F13-,CL16-



青森県基幹種有牛第1号。  
青森県で唯一の菊美系種雄牛。系桜系との相性が良く、特に「第1花園」との交配に期待される種雄牛です。

## 間接検定成績 (H8.12)

1日平均増体量	0.97 kg
ロース芯面積	54 cm <sup>2</sup>
バラの厚さ	7.4 cm
脂肪交雑	3.1

## 推定育種価 (H17.3解析)

枝肉重量	-26.2 kg
ロース芯面積	6.36 cm <sup>2</sup>
皮下脂肪厚	-0.32 cm
脂肪交雑	0.98

### 菊安土井

黒原575(81.2)  
黒育125(81.6)

間検DG  
BMS 4.2

### 菊則土井

黒9285(78.1)  
黒育32(80.7)

### 菊美土井

黒5367(78.5)  
黒育5(78.6)

### むらよし

黒原74233(79.3)  
黒高42062(79.4)

### 安千代土井

黒10327(78.9)  
黒育47(81.0)

### てるみ

黒原312016(79.5)  
黒高133858(80.3)

### 安谷土井

黒原472(81.4)  
黒育85(82.7)

### 安美土井

黒10328(79.6)  
黒育48(82.3)

### てるひめ

黒原311950(79.5)  
黒育16354(80.1)

### 菊照土井

黒10787(79.3)  
黒育100(81.1)

# 照神12

(てるかみじゅうに)

生年月日: 平成6年3月21日

生産者: 兵庫県美方郡美方町  
毛戸 照幸

飼養地: 青森県農林総合研究センター  
畜産試験場和牛改良技術センター  
(青森県つがる市)

黒12548 (83.0) B3-,F13-,CL16-



## 測定値(H17.8)

(単位: cm, kg)

体高	146
胸囲	207
胸深	77
胸幅	51
尻長	51
腰角幅	47
かん幅	46
体重	626



検定成績は、1日平均増体量、枝肉重量、脂肪交雑ともに全国平均を上回りました。

肥育現場での枝肉成績でも、脂肪交雑に優れた成績を示し、特にA4以上の格付割合が高い結果となっています。

血統的には、中土井系の純系であり、資質の改善に期待される種雄牛です。

## 間接検定成績(H10.12)

1日平均増体量	0.98 kg
ロース芯面積	45 cm <sup>2</sup>
バラの厚さ	6.2 cm
脂肪交雑	2.5

## 推定育種価(H17.3解析)

枝肉重量	-12.2 kg
ロース芯面積	2.05 cm <sup>2</sup>
皮下脂肪厚	0.23 cm
脂肪交雑	1.30

### 谷福土井

黒原1606(81.4)  
黒育950

直検DG 1.14  
間検DG 0.80  
BMS 3.20

### 安谷土井

黒原472(81.4)  
黒育85(82.7)

### きくつる

黒978542(77.3)  
黒高29920(78.0)

### 安美土井

黒10328(79.6)  
黒育48(82.3)

### 菊美土井

黒5367(78.5)  
黒育5(78.6)

### みゆき

黒原312016(80.4)  
黒育13056(80.6)

### 安美土井

黒10328(79.6)  
黒育48(82.3)

### 田安土井

黒7208(78.8)  
黒育6(80.6)

### みつぶく

黒原978529(77.7)  
黒育1447(79.0)

### 菊美土井

黒5367(78.5)  
黒育5(78.6)

# 国栄97

(くにさかえきゅうじゅうなな)

生年月日: 平成9年10月30日

生産者: 青森県上北郡横浜町  
秋田 藤一

飼養地: 青森県農林総合研究センター  
畜産試験場和牛改良技術センター  
(青森県つがる市)

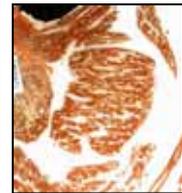
黒13122 (83.0) B3-,F13-,CL16-



## 測定値(H17.8)

(単位: cm, kg)

体高	149
胸囲	218
胸深	80
胸幅	51
尻長	51
腰角幅	49
かん幅	51
体重	767



検定成績は、1日平均増体量、脂肪交雑ともに全国平均を上回っています。肥育現場での枝肉成績は、脂肪交雑とバラの厚さに優れた成績を示し、特にA5の格付割合は50% (9/18) であり、特筆されます。

血統的には、糸桜系と兵庫系との系統間交配であり、それぞれの血統の濃い牛にも供用可能であり、広範な活用が期待されます。

## 間接検定成績(H13.12)

1日平均増体量	1.08 kg
ロース芯面積	43 cm <sup>2</sup>
バラの厚さ	6.9 cm
脂肪交雑	2.8

## 推定育種価(H17.3解析)

枝肉重量	0.1 kg
ロース芯面積	7.62 cm <sup>2</sup>
皮下脂肪厚	-0.60 cm
脂肪交雑	2.00

### 北国7の8

黒原1530(86.7)

直検DG 1.30  
間検DG 0.94  
BMS 2.70

### 第7系桜

黒原65(80.0)  
黒育29(81.0)

### 第14茂

黒8994(79.5)  
黒高280(78.4)

### きたぐに7

黒原81009(79.6)  
黒高34962(79.0)

### 晴美

黒9878(81.0)  
黒育19(80.6)

### えいこ

黒1952223(81.0)  
黒高142893

### 丸優

黒原1003(80.1)

### 菊安土井

黒原575(81.2)  
黒育125(81.6)

### 第9ふじえい

黒1764557(79.2)

### 安美金

黒10990(83.1)  
黒高690(80.8)



青森県農林総合研究センター（黒石市）での稲ホールクroppサイレージ用  
飼料稲「うしゆたか（H19.9.13.青森県奨励品種）」の収穫作業

**編集・発行**

**青森県農林水産部畜産課**